



令和7年度

山形県漁業実習船鳥海丸 実習報告書



起 工 平成 22年 7月 6日

進 水 平成 22年 10月 22日

竣 工 平成 23年 1月 31日

建造所 株 式 会 社 ヤ マ ニ シ

山形県立加茂水産高等学校

はじめに

令和7年度の山形県立加茂水産高等学校実習船「鳥海丸」の実習船報告書がまとまりました。本年度も県教育委員会をはじめとする関係各所から多大なるご指導とご協力を賜り、予定通りに本船の運航と運営が進みましたことに、深く感謝申し上げます。

本校は県内唯一の水産高校として、本県や我が国の水産業や海洋関連産業を担う「海のスペシャリスト」の育成を使命とし、水産・海洋に関する学習と、実習船鳥海丸を活用した乗船実習を教育活動の両輪として取り組んでいます。鳥海丸は本校の「第二の校舎」として、日々学んだ知識や技術を実践する場であり、航海や漁労実習を通して勤労観を養う場としても大きな役割を果たしています。

今年度も、1年生の函館への体験航海に始まり、3年生海洋技術系の沿岸航海、2年生では食品系の海洋資源活用航海と資源増殖系の海洋資源調査航海、そして海洋技術系の60日間に及ぶ総合実習航海を充実した内容で実施することができました。特に総合実習航海については、次のような大きな変革を伴った実習となりました。

一つ目に、出港式を加茂港で行ったことが挙げられます。平成28年以降、砂の堆積等により鳥海丸の加茂港内への入港が困難になったことから、鳥海丸は酒田港から出港してきました。これ以降、山形県当局のご支援による継続的な浚渫工事の実施により、今年度10年ぶりに加茂港での出港式を行うことができました。二つ目に、より充実した沿岸航海実習を行って高度な航海術を身に付けるため、主要航路である関門海峡での航行を行ったことが挙げられます。船舶交通が多く狭い海域を航行することで、生徒たちは自分自身の役割をしっかりと自覚して責任を果たすことで、より高度な航海技術を習得できたことと思います。

さらに、文部科学省による「高等学校DX加速化推進事業」2年目の取組みとして、船内のLAN工事を行って本校舎と鳥海丸をオンラインでつなぎ、初めて協働学習を行ったことも、大きな変革であり成果を上げることができたと言えます。今後さらに発展した学習が展開されることを期待しています。

今後とも改善を図りながら、実習船鳥海丸が安全で効果的な航海実習を運営できるよう努めてまいりますので、引き続き関係各所のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。そして、加茂水産高校のシンボルともいえる鳥海丸での航海実習を通して、生徒たちが海と船に親しみ学び、日々逞しく成長してくれることを願います。

令和8年3月

山形県立加茂水産高等学校

校長 小山 和彦

目 次

・はじめに

1. 実習船の概要	P 1
2. 令和6年度 実習船運航実績表（前期／後期）	P 3
3. 令和6年度 配乗実績一覧表	P 5
4. 実習船「鳥海丸」乗組員名簿	P 6
5. 実習船運営委員会運営方式と組織	P 7
6. 令和7年度 第1次航海（1年水産科体験航海）	P 9
7. 令和7年度 第2次航海（3年海洋技術系沿岸航海）	P 15
8. 令和7年度 第3次航海（イカ資源調査航海）	P 22
9. 令和7年度 第4次航海（救命講習基本訓練）	P 29
10. 令和7年度 第5次航海（小・中学生体験航海）	P 32
11. 令和7年度 第6次航海（2年食品系海洋資源活用航海）	P 37
12. 令和7年度 第7次航海（2年資源増殖系海洋資源調査航海）	P 44
13. 令和7年度 第8次航海（2年海洋技術系総合実習航海）	P 55
14. 令和7年度 第9次航海（海洋資源調査航海）	P 62
15. 令和7年度 第10次航海（海洋環境調査航海）	P 67

・おわりに

実習船の概要

鳥海丸 主要目等

船体主要目等

全 長	44.82m
登録長	39.19m
幅 (型)	7.90m
深さ (型)	3.30m
総トン数	233トン
速 力 (試運転最大)	14.062kt
(航海)	約12.00kt
主機関	6MG22HX-7 1基 (新潟原動機)
	1044kW×1000min-1 IMO Nox対応
船 型	船首尾楼付一層甲板船・船尾機関型
資 格	第3種漁船
航行区域	A3水域 (近海区域、非国際航海)
船舶番号	141368
信号符字	JD3143
船籍港	山形県鶴岡市
最大搭載人員	39名
	(生徒22名、教官2名、乗組員15名)

航海計器

レーダー	JMA-5322-7R	2式	日本無線
電子海図表示装置	JAN-701B	1式	日本無線
潮流観測装置	CI-68BB	1式	古野電気
スキャニングソナー	CSH-8L	1式	古野電気
GPSコンパス	JLR-20	1式	日本無線
DGPS航法装置	JLR-7800	2式	日本無線
無線方位測定機	TD-A158	1式	大洋無線
魚群探知機	FCV-1500L	1式	古野電気
スピードログ	DS-80	1式	古野電気
オートパイロット及びジャイロコンパス	PR-6612A-E1,TG-8000	1式	東京計器
風向風速計	MM-52a	1式	日本エレクトリック インスルメント

容 積

保冷艙 (グレイン)	27.09m³
(バール)	22.75m³
凍結室 (グレイン)	21.00m³
活魚水槽 (グレイン)	4.42m³
燃料タンク	142.27m³
潤滑油タンク	6.81m³
清水タンク	9.08m³
雑用清水タンク	13.38m³

起工年月日	平成22年 7月 6日
進水年月日	平成22年10月22日
竣工年月日	平成23年 1月31日
設計・監督	社団法人 海洋水産システム協会
建造所	株式会社 ヤマニシ

機関

主機関	6MG22HX-7 1044kW(クランク軸端) x1000min-1	1基	新潟原動機
発電機関	6HAL2-HTN 265kWx1800min-1	2基	ヤンマー
発電機	AC225Vx275kVA	2台	大洋電機
推進器	4翼可変ピッチプロペラ40度スキュード	1台	かもめプロペラ
セントラルクーラー	RX-135B-NPM-107	2台	笹倉サービスセンター
減速機	MGR1524VC	1台	日立ニコトランスミッション
造水装置	HR-10N 5t,10t/day 切換式	1式	笹倉サービスセンター
燃料油清浄装置	AJN-750B 400 ℓ/h 5μm	1台	アメロイド 日本サービス
潤滑油清浄装置	YS-300W 600 ℓ/h 1μm	1台	アメロイド 日本サービス
油水分離器	USH-01 0.15m³/h	1台	大晃機械工業

鳥海丸 主要設備要目

漁撈・甲板機械

漁撈省力設備(幹縄格納装置)

RIC-6S-20.5-1-RCY 1式 泉井鉄工所

繰出機

RIC-6K 1台 泉井鉄工所

ラインホーラー

KYH-18BF-ET-RCY 1台 泉井鉄工所

ネットホーラー

H-Y21 1台 泉井鉄工所

ブラン機

BA-100N-5V 0.75kw電動 1台 泉井鉄工所

スローコンベアー

揚縄用・投縄用 各1台 フジイ工機

搬送コンベアー

1.5kw電動式 1台 フジイ工機

ボールローラー

BR-230, BW-230 各1台 興 洋

蟹簀ウインチ

KJS-4 1台 カワサキプレジジョンマシナリ

自動イカ釣機

SE-UA1 10台 三 明

バラアンカー捲きウインチ

電動油圧式 各1台 カワサキプレジジョンマシナリ

揚錨機

電動油圧式24.5kN×15m/min 1台 カワサキプレジジョンマシナリ

キャブスタン

電動油圧式 1台 カワサキプレジジョンマシナリ

操舵機

WSP-W13-040S 1台 東京計器

バウスラスタ

TCB-35MN 115kw 1.5t 1台 かもめプロペラ

フラップ舵

K-7 1式 かもめプロペラ

冷凍装置

高速多気筒二段圧縮機 VKL62BMS45M
45Kw -50℃ 1台 日新興業

調査・観測機械

測深機

2000m可能 1式 鶴見精機

C/STD測定装置

..... 1式 日本海洋

通信装置

無線ラックコンソール

NCU-820 1式 日本無線

MF/HF無線装置 (GMDSS用)

JSB-196GM 1式 日本無線

MF/HF無線装置 (一般用)

JSB-196GM 1式 日本無線

SSB無線電話

TH-4035 1式 大洋無線

DSB無線電話

JSD-282 1式 日本無線

国際VHF無線電話

JHS-770S 2式 日本無線

海事衛生通信装置

FELCOM 70 1式 古野電気

海事衛生通信装置

JUE-85 1式 日本無線

ナブテックス受信機

NCR-733 1式 日本無線

双方向無線電話

JHS-7 4式 日本無線

レーダトランスポンダ

TRON SART20 1式 日本無線

EPIRB

JQE-103 1式 日本無線

船内指令装置

NVA-1810Mk II H 1式 日本無線

船舶自動識別装置

JHS-182 1式 日本無線

自動交換式電話

OAE-1200MX 1式 日本船用

その他の機器

パーソナルコンピューターシステム 1式 日本無線

救命筏

膨張式 20人用 2台 藤倉ゴム工業

船舶用ユニッククレーン

つり上荷重960kg 1台 古河ユニック

ふん尿等浄化装置

Tfe-40 1式 五光製作所

火災警報装置

FF-3062-10 1式 日本船用

令和7年度運航実績(後期:10月～3月)

2026/3/31

10月			11月			12月			1月			2月			3月					
船名	船種	船種	船名	船種	船種	船名	船種	船種	船名	船種	船種	船名	船種	船種	船名	船種	船種			
1 水	船内作業	▲	1 月	船内作業	△	1 水	元日	×	1 日	×	×	1 日	学校行事(卒業式)	△	1 日	×	×			
2 木	船内作業	▲	2 火	船内作業	△	2 金	閉庁日	×	2 月	×	×	2 月	学校代休(3月1日)	×	2 月	×	×			
3 金	船内作業	▲	3 水	船内作業	△	3 土		×	3 火	×	×	3 火	ドック作業・倉庫作業	△	3 火	×	×			
4 土	酒田出港	○	4 木	酒田出港	△	4 金		×	4 水	×	×	4 水	ドック作業・倉庫作業	△	4 水	移動・倉庫作業	△			
5 日		○	5 金		△	5 土		×	5 木	×	×	5 木	↑ドック回航・ドック出港	◎	5 木	×	×			
6 月	日本港イカ釣り実習	○	6 土	酒田入港	○	6 日		×	6 金	×	×	6 金	ドック作業・倉庫作業	◎	6 金	×	×			
7 火		○	7 日	船内作業	▲	7 月		×	7 土	×	×	7 土	↓ドック回航・酒田入港	◎	7 土	×	×			
8 水		○	8 月	船内作業	▲	8 火		×	8 日	×	×	8 日		×	8 日	×	×			
9 木		○	9 火	生徒下船	△	9 水		×	9 金	×	×	9 月	船内作業	△	9 月	×	×			
10 金		○	10 水		×	10 木		×	10 土	×	×	10 火	船内作業	△	10 火	×	×			
11 土		○	11 火		×	11 水		×	11 木	×	×	11 水	船内作業	△	11 水	×	×			
12 日	酒田港入港	○	12 水	船内作業	△	12 金		×	12 土	×	×	12 木	船内作業	△	12 木	×	×			
13 月	船内作業	▲	13 木	船内作業	△	13 土		×	13 火	×	×	13 金	船内作業	△	13 金	×	×			
14 火	船内作業	▲	14 金	酒田出港	○	14 日		×	14 水	×	×	14 土		×	14 土	×	×			
15 水	酒田出港・カニ鑑投覧 (沿岸航海)	○	15 土	海洋資源調査船 (日本港イカ釣り)	○	15 月		×	15 木	×	×	15 日		×	15 日	×	×			
16 木	(沿岸航海)	○	16 日	酒田入港	○	16 火		×	16 金	×	×	16 月	ドック作業・倉庫作業	△	16 月	×	×			
17 金	(沿岸航海)	○	17 月	船内作業	△	17 水	クラス対抗戦(学校運動会)	△	17 土	×	×	17 火	ドック作業・倉庫作業	△	17 火	×	×			
18 土	関門海峡通過後鎮泊	○	18 火	船内作業	△	18 木		×	18 日	×	×	18 水	ドック作業・倉庫作業	△	18 水	×	×			
19 日	下関港入港	○	19 水	船内作業	△	19 金		×	19 土	×	×	19 木	↑ドック回航・酒田出港	◎	19 木	×	×			
20 月		○	20 木	船内作業	△	20 土		×	20 火	×	×	20 金	回航	◎	20 金	×	×			
21 火	下関港出港	○	21 金	酒田出港	○	21 日		×	21 水	×	×	21 土	//	◎	21 土	×	×			
22 水	(沿岸航海)	○	22 土	海洋資源調査船 (日本港イカ釣り)	○	22 月		×	22 木	×	×	22 日	ドック回航・ドック地入港	◎	22 日	×	×			
23 木	(沿岸航海)	○	23 日	船内作業	△	23 火	課題研究発表会	△	23 金	×	×	23 月	交歓誕生日	◎	23 月	×	×			
24 金	(沿岸航海)	○	24 月	振替休日	○	24 水		×	24 土	×	×	24 火	ドック作業・倉庫作業	△	24 火	×	×			
25 土	カニ鑑投覧・酒田入港	○	25 火	酒田入港	○	25 木		×	25 日	×	×	25 水	ドック作業・倉庫作業	△	25 水	×	×			
26 日	酒田出港・酒田入港	○	26 水	船内作業	△	26 金		×	26 月	×	×	26 木	ドック作業・倉庫作業	△	26 木	×	×			
27 月	船内作業	▲	27 木	船内作業	△	27 土		×	27 火	×	×	27 金	ドック作業・倉庫作業	△	27 金	×	×			
28 火	船内作業	▲	28 金	船内作業	△	28 日		×	28 水	×	×	28 土	ドック作業・倉庫作業	△	28 土	×	×			
29 水	酒田出港	○	29 土		×	29 月		×	29 木	×	×	29 火		×	29 日	×	×			
30 木		○	30 日		×	30 火	閉庁日	×	30 金	×	×	30 月	船内作業・年度末反省会	△	30 月	×	×			
31 金	酒田入港	○	31 月		×	31 水	閉庁日	×	31 土	×	×	31 日		×	31 火	×	×			
○船種			11			0			0			0			0			38		
◎回航			27			0			4			0			7			122		
△作業日			0			0			9			0			3			7		
▲作業日(船日直)			10			8			9			12			16			55		
×勤務不曜日			0			0			0			0			0			9		
備考			4			23			18			16			12			73		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考			備考			備考		
備考			○船種			備考			備考			備考								

令和7年度 配乗実績 一覧表

航海名	実習・研修名	指導教官	対象者	日程	航海 日数 (日)	計画人数(人)		乗船生徒 実数(人)	備 考
						生徒	指導 教官		
1次航海	体験航海	木村 和人 本間 仲栄 佐藤 鉄	1年水産科	5/8~5/11	4	9	3	9	
	体験航海	板垣 寿勇 神林 充 佐藤 浩		5/15~5/18	4	12	3	12	
2次航海	沿岸航海	土井 拓也 佐藤 鉄	3年海洋技術科	5/21~5/25	5	8	2	8	
3次航海	イカ資源調査航海	—	乗組員	6/1~7/10	40	0	0	0	
4次航海	救命講習基本訓練	—	2年水産科海洋技術系	7/15	1	0	0	0	
5次航海	小・中学生体験航海	佐藤 鉄	県内小学生4年生~中学2年生と保護者	7/19	1	38	1	38	
	中学生体験航海	佐藤 勝則 佐藤 鉄	中学生	7/31	1	8	2	8	
				8/1	1	7	2	7	
	小学生体験航海	土井 拓也	県内小学生	8/2	1	20	1	20	指導員補助で高校生2名乗船
6次航海	海洋資源活用航海	水野 貴雄 神林 充	2年水産科食品系	8/19~8/26	8	5	2	5	
7次航海	海洋資源調査航海	佐藤 専寿 本間 仲栄	2年水産科資源増殖系	8/29~9/5	8	8	2	8	
8次航海	総合実習航海	佐藤 勝則 土井 拓也 佐藤 良	2年水産科海洋技術系	9/11~11/9	60	7	3	7	佐藤勝則 (9/11~10/12) 土井拓也 (10/13~11/9)
9次航海	海洋資源調査航海	—	乗組員	11/14~11/16	3	0	0	0	
	海洋資源調査航海	—	乗組員	11/21~11/25	5	0	0	0	
10次航海	海洋環境調査航海①	—	乗組員	12/2~12/4	3	0	0	0	中止 (荒天のため)
	海洋環境調査航海②	—	乗組員	1/7~1/9	3	0	0	0	中止 (荒天のため)
合計				14日程	142	122	21	122	

※合計に、延期または中止になった航海の日程、航海日数は含まない。

※合計に、延期になった航海の計画人数、乗船生徒実数は含まない。

令和 7 年度 実習船「鳥海丸」乗組員名簿

No	職 名	氏 名	備 考
1	船 長	倉 本 照 幸	
2	機 関 長	渡 会 一 浩	
3	通 信 長	大 瀧 敏 弘	
4	一 等 航 海 士	前 田 治 雄	
5	一 等 機 関 士	佐 藤 誠	
6	二 等 航 海 士	田 村 駿	令和8年3月31日 任用終了
7	三 等 航 海 士	布 川 陽 一 郎	
8	機 関 士	斎 藤 昇	
9	司 厨 長	高 山 真 福	
10	甲 板 長	堀 大 輝	
11	冷 凍 長	太 田 航 平	
12	甲 板 員	高 橋 豪	
13	機 関 員	土 門 拓 矢	
14	機 関 員	佐 藤 暉	令和8年8月1日 任用開始

実習船運営委員会運営方式と組織

令和7(2025)年度 実習船運営委員会 役割分担

2025. 4. 2現在

	係 名	内 容	担当者氏名
実 習 船 運 営 委 員 会	総 務	運航・操業計画・実習生配乗計画 実習船運営委員会の運営 公簿証書保管・管理 漁業操業許可申請(水産庁、実運協) 保険関係・配乗人員報告(県スポーツ保健課) 水産庁、県関係への報告、届出	佐 藤 勝 則 佐 藤 勝 則、土 井 拓 也、佐 藤 鉄 倉 本 船 長 佐 藤 勝 則、板 垣 寿 勇、土 井 拓 也 倉 本 船 長 佐 藤 勝 則、土 井 拓 也 倉 本 船 長
		出入港に係わる事務 実習船運営協議会との連絡 営繕管理、乗組員の任用申請 勤務条件、労務管理、福利厚生等 予算編成、決算報告 航海毎収支計算報告書(水産庁)	佐 藤 勝 則、板垣寿勇、土井拓也 佐 藤 勝 則 倉 本 船 長 事 務 長 " "
		出入港関係業務(酒田)	土 井 拓 也、水産科職員
主・佐藤勝則	報 告	運航・操業状況の定時通信の整理報告(正午位置報告)	佐 藤 勝 則、土 井 拓 也
		乗船履歴整理保管(訓練記録簿)	佐 藤 鉄
		運輸局関係報告届出	佐 藤 勝 則、土 井 拓 也
		運営委員会の会議録	佐 藤 鉄、土 井 拓 也
		調査研究資料整理、保管、報告(遠水研) 実習報告書の編集と関係機関への配布	通 信 長、佐 藤 勝 則 通 信 長、板 垣 寿 勇、土 井 拓 也 佐 藤 専 寿、水 野 貴 雄
		海洋観測、魚体観測	通 信 長、指 導 教 官
		業務日誌	通 信 長、事 務 長
	乗 船 指 導	事前指導の計画(乗船保護者会、オリエンテーション) 実習生保護者、乗組員家族への連絡 オリエンテーションの実施	指 導 教 官、H R 担 任 佐 藤 勝 則、実習船事務局 指 導 教 官、H R 担 任
		健康診断	養 護 教 諭、H R 担 任
		実習生指導 海洋観測、操業報告	指 導 教 官 通 信 長、指 導 教 官
		衛生管理 医薬品の管理等	二 等 航 海 士 三 等 航 海 士
副・土井拓也	事 務 局	実習船運営関係全般	教 頭、佐藤勝則、板垣寿勇 佐藤専寿、水野貴雄、土井拓也 佐 藤 鉄、江 場 海

1 次 航 海

令和7年度 1次航海

1 航海の名称 日本海沿岸航海（1年生体験航海）

2 目的

- （1）本邦港湾施設（函館）への出入港、航行援助施設設備の運用と実際、航行している船内で宿泊することや当直業務を見学し、船の運航や洋上における安全確保についての基礎的知識と技術を習得するとともに、水産・海洋についての興味関心を持たせる。
- （2）船内における集団生活をととして、集団の規律を学ぶとともに、生徒相互間の親睦を図り、お互いの仲間意識を育み、本校の伝統である熱・意気・団結の精神を体得させる。
- （3）海洋に親しみ、船舶に対する興味関心を持たせる。
- （4）県外地（函館）に寄港し、文化・風土にふれ視野を広める。

3 航海の概要

- （1）実習期間【1回目】令和7年5月8日（木）～5月11日（日）（4日間）
【2回目】令和7年5月15日（木）～5月18日（日）（4日間）

項 目	1年水産科 体験航海【1回目】	1年水産科 体験航海【2回目】
酒田出港日	5月 8日（木）	5月 15日（木）
集合時間	9：00	9：00
酒田入港日	5月 11日（日）	5月 18日（日）
解散時間	16：00	16：00
乗船生徒数	水産科 9名	水産科 12名
乗船員数	13名	13名
指導教官	木村 和人	板垣 寿勇
	本間 伸栄	神林 充
	佐藤 鉄	佐藤 浩

4 日程・日課・実習および学習の実施状況

【1回目】

～第1日目～

時刻	活動内容	備 考
9:00	集合・乗船完了 オリエンテーション	諸連絡 船内生活の注意事項・船内設備の説明
9:40	操練説明	船内避難経路確認
10:00	操練 バットメイキング	総員退船部署 身辺整理
11:30	昼食	
12:30	船内見学	
13:15	対面式・出港式	生徒・乗組員自己紹介
14:00	酒田港出港 船内学習（船橋見学）	航海当直の様子
17:30	夕食 船内学習（船橋見学）	航海当直の様子
21:00	点呼	就寝準備
22:00	消灯	

～第2日目～

時刻	活動内容	備 考
6:30	起床・点呼	体調確認
7:00	朝食	
9:00	函館港入港	入港業務見学
10:00	函館市内研修	海洋総合研修センター・北洋資料館・五稜郭
17:00	帰船・夕食	
18:30	函館市内研修	函館山夜景見学
21:00	帰船・点呼	
22:00	消灯	

～第3日目～

時刻	活動内容	備 考
6:30	起床・点呼	体調確認
7:00	朝食	
9:00	研修	青函連絡船記念館・自主研修
14:00	帰船、点呼	
16:30	函館出港・夕食	
21:00	点呼	本日のまとめ
22:00	消灯	

～第4日目～

時刻	活動内容	備 考
6:30	起床・点呼	体温測定・体調確認
7:00	朝食	
8:00	個人面談・船内学習	(荒天により揺動が激しいため中止)
11:30	昼食	
12:30	身辺整理・掃除	(荒天により揺動が激しいため入港後に変更)
15:00	酒田港入港	
15:20	下船式	
16:00	解散	

【2回目】

～第1日目～

時刻	活動内容	備 考
9:00	集合・乗船完了	諸連絡
	オリエンテーション	船内生活の注意事項・船内設備の説明
9:40	操練説明	船内避難経路確認
10:00	操練	総員退船部署
	バットメイキング	身辺整理
11:30	昼食	
12:30	船内見学	
13:15	対面式・出港式	生徒・乗組員自己紹介
14:00	酒田港出港	
	船内学習（船橋見学）	航海当直の様子
17:30	夕食	
	船内学習（船橋見学）	航海当直の様子
21:00	点呼	就寝準備
22:00	消灯	

～第2日目～

時刻	活動内容	備 考
6:30	起床・点呼	体調確認
7:00	朝食	
9:00	函館港入港	入港業務見学
10:00	函館市内研修	海洋総合研修センター・北洋資料館・五稜郭
17:00	帰船・夕食	
18:30	函館市内研修	函館山夜景見学
21:00	帰船・点呼	
22:00	消灯	

～第3日目～

時刻	活動内容	備 考
6:30	起床・点呼	体調確認
7:00	朝食	
9:00	研修	青函連絡船記念館・自主研修
15:00	帰船、点呼	
17:00	函館出港	出港業務見学
17:30	夕食	
21:00	点呼	本日のまとめ
22:00	消灯	

～第4日目～

時刻	活動内容	備 考
6:30	起床・点呼	体温測定・体調確認
7:00	朝食	
8:00	船内学習・身辺整理等	
11:30	昼食	
12:30	生徒室掃除・片付け	
14:30	酒田港入港	入港業務見学
15:00	下船式	
16:00	解散	

5 船内生活と生徒指導・航海の状況について

(1) 理解・技術の習得

入学してすぐの航海で、集団生活をとおしてクラスの仲間と親睦を深めたり、人間関係を構築したりする良い機会となった。

オリエンテーションでは、陸上での生活と異なり、狭い船上での生活をする上での規律や時間厳守などを徹底させた。

(2) 船内生活

酒田港から函館港入港までの航海は海況に恵まれたこともあり、数名の生徒が船酔いをする程度であった。函館港から酒田港入港までの航海では低気圧の影響により、食堂で食事をした生徒は数名のみと、体験航海としては厳しい航海となった。

男女混合での航海のため、男女間での部屋の行き来はしないことを事前に指導したことで問題等はなかった。

(3) 保健衛生

コロナ禍の制約解除後の航海であり、マスク着用は各自の判断に任せた。作業前後の手洗いや手指消毒の実施などは引き続き行わせた。船内では1人がウイルスを持ち込めば全員罹患する可能性が高いことなど乗船前の注意喚起をし、感染予防指導を徹底した。また、各部屋や共同で使うトイレ、食堂などの清掃や整理整頓に注意し、全員が過ごしやすい環境作りを心掛けた。

(4) 航海の感想

1回目の航海は2日間の函館市内研修も天気にも恵まれ、施設見学等も予定通り実施することができた。2回目の航海は函館市内が雨天のため函館山での夜景見学ができなかった。また、船の入港場所が見学施設と離れていたこともあり、目的施設まで徒歩での移動で疲れた生徒も多くいた。

今回の乗船を通して、船舶に興味を持ったもの、船酔いで長期航海に不安を感じたものなど、今後の類型選択に向けて意義深いものとなった。

6 航海実習写真

写真① 対面式・出港式	写真② 船内説明の様子
	
写真③ 出港業務見学	写真④ 北洋資料館見学
	
写真⑤ 函館山	写真⑥ 水産海洋総合研究センター見学
	
写真⑦ 青函連絡船記念館（摩周丸）	写真⑧ 下船式
	

2 次 航 海

令和7年度 2次航海

1 航海の名称 沿岸航海実習（3年水産科海洋技術系）

2 目 的

- （1）海洋技術科航海系で学習する「航海・計器」および「船舶運用」の授業を実際に運用および活用できる技術や能力を養う。
- （2）往路航海・復路航海を通じ、航海士と同様の当直作業を実施し、見張りや船位を求める作業、出入港作業に参加し、見習い航海士としての技術を体得する。
- （3）海上衝突予防法や港則法などの海上交通法規を実際に学ぶとともに、海上気象や状況に応じた航海ができる態度と能力を養う。
- （4）2年次の総合実習航海での実習内容がより深化・発展できるようにする。

3 航海の概要

- （1）実 習 期 間 令和7年5月21日（水）～令和7年5月25日（日）
- （2）実 習 項 目 出入港業務、航海当直、操船実習
- （3）実 習 生 徒 3年水産科海洋技術系 8名
鳥海丸乗組員 13名
指 導 教 官 土井 拓也、佐藤 鉄

4 日程・日課・実習および学習の実施状況

5月21日（水）	活 動 内 容
08:30	鳥海丸集合・総員退船部署・操練
09:10	航海機器点検始動 酒田出港 《出港配置：船首2名、船橋2名、船尾4名》
11:30	航海当直（2名 4時間交代 出港S/B～Noon） 昼食
12:00	航海当直（3名 4時間交代 Noon～16:00）
16:00	航海当直（2名 4時間交代 16:00～20:00）
17:00	夕食
20:00	航海当直（2名 4時間交代 20:00～MN）

5 月 22 日 (木)	活 動 内 容
00:00	航海当直 (3名 4時間交代 MN~04:00)
04:00	航海当直 (2名 4時間交代 04:00~08:00)
07:00	朝 食
08:00	航海当直 (2名 4時間交代 08:00~Noon)
11:30	昼食
12:00	航海当直 (3名 4時間交代 Noon~16:00)
13:30	宮古港入港S/B 《入港配置：船首2名、船橋3名、船尾2名》
13:50	宮古港入港 学習会（ドラフト確認、航海計器類の確認、舷門当直の方法等）
17:00	夕 食
21:00	点呼《各部屋の巡視》
22:00	入室消灯

5 月 23 日 (金)	活 動 内 容
07:00	起床・点呼・朝 食
08:30	舷門集合（見学地に移動）
09:00	宮古水産高校 実習船「りあす丸」 見学
11:00	宮古海上短期大学校 見学
12:30	昼 食
13:30	宮古出港S/B 《出港配置：船首3名、船橋2名、船尾2名》
14:00	宮古出港 宮古港錨地にて、揚投錨実習
	航海当直 (2名 4時間交代 出港S/B~16:00)
16:00	航海当直 (3名 4時間交代 16:00~20:00)
17:00	夕 食
20:00	航海当直 (2名 4時間交代 21:00~MN)

5 月 24 日 (土)	活 動 内 容
00:00	航海当直 (2名 4時間交代 MN~04:00)
04:00	航海当直 (3名 4時間交代 04:00~08:00)
07:00	朝 食
08:00	機関当直 (2名 4時間交代 08:00~Noon)
11:30	昼食
12:00	機関当直 (2名 4時間交代 Noon~16:00)
16:00	航海当直 (3名 4時間交代 16:00~20:00)
17:00	夕 食
20:00	当直解除
21:00	点呼《各部屋の巡視》
22:00	入室消灯

5 月 25 日 (日)	活 動 内 容
07:00	起床・点呼・朝 食
08:00	操船実習説明
08:30	操船実習
10:30	酒田港入港S/B 《出港配置：船首2名、船橋2名、船尾3名》
11:00	酒田港入港 学習会（ドラフト確認、航海計器類の停止、入港手続き等）
11:30	昼食
13:00	大掃除・下船準備
15:00	下船式
16:00	下船・解散

5 船内生活と生徒指導・航海の状況について

(1) 理解・技術の習得

2年間の航海・計器と船舶運用で学んできたことの復習を、この航海でもらうということで乗船した。出入港作業での係船策やレットの取扱い、航海当直での見張りや連絡伝達、航海計器の使用方法、そして揚投錨実習と操船実習での船舶の取扱いと、多くのことを現場で実践し習得してもらった。2年生のときの総合実習から約半年後ということもあり、全ての作業においてスムーズに取り掛かっている印象があったが、更に上のレベルの知識・技術の習得というところで全員が達成することができていないと感じた。少ない航海日数の中で、更に効率よく生徒に知識・技術を習得してもらえるプログラムを作成する必要があると実感した。乗船生徒は、今回の航海で身につけたものを、今後の進路で活かしてもらいたい。

(2) 船内生活

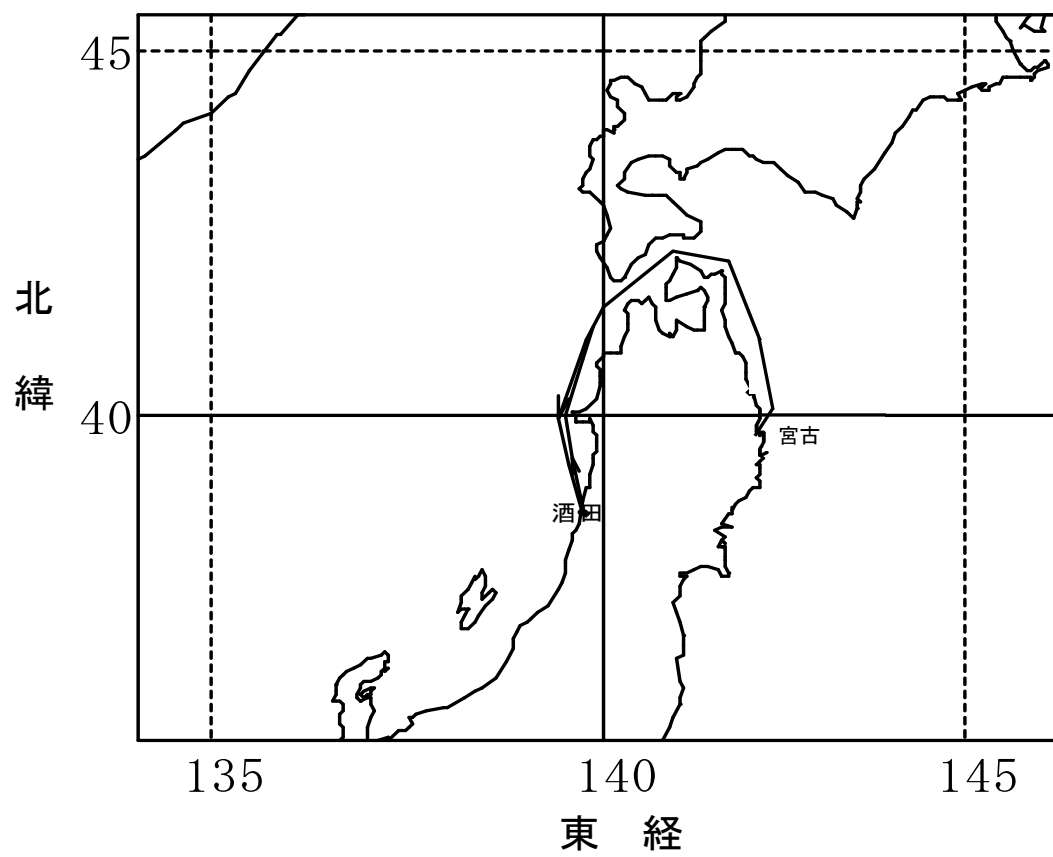
船内生活では、特に問題なく過ごすことができた。24時間の当直体制は、2年生の総合実習において経験していたので生活リズムを整えることができていた。当直の交代にもしっかりと遅れずに昇橋し引継ぎを行うことができ、また、当直終了後もしっかりと休息をとり次の当直に備えることができていた。

(3) 航海の状況

航海計画通りの航海をすることができた。往航は、酒田港を出港し津軽海峡を東航、その後、宮古港に入港した。復航は、宮古港を離岸した後、湾内で揚投錨実習、レット投げ実習を行った後に出港した。その後は津軽海峡を西航、酒田沖で操船実習を行った後に、酒田港に入港した。津軽海峡や宮古港沖では、関係船舶が多く、海上衝突予防法に則った避航動作を学ぶことができた。

6 航跡図

令和7年度3年水産科海洋技術系沿岸航海



7 航海実習写真

写真① 出港前の退船操練	写真② 酒田出港
	
写真③ 学習日誌の作成	写真④ チャートワーク
	
写真⑤ 宮古水産高校りあす丸見学	写真⑥ 宮古海上技術短期大学校見学
	
写真⑦ 揚投錨実習	写真⑧ 操船実習
	

3 次 航 海

令和7年度 3次航海

1 航海の名称 イカ資源調査航海

2 目的

- (1) 水産試験研究機関と共同で行う 2025年度太平洋いか類漁場一斉調査の一環として本調査を実施する。調査海域である道東太平洋・三陸沖は、北上回遊期において重要な索餌海域である。本調査は索餌海域に分布するスルメイカの資源水準を把握し、資源評価および漁況予測に不可欠なデータを収集することを目的とする。
- (2) 日本海の主要水産資源であるスルメイカの日本海中・北部沖合への分布状況を明らかにし、スルメイカの資源量推定および漁況予報の資料とする。あわせて、日本海におけるスルメイカの分布と海洋環境の関係を明らかにするとともに海洋環境による分布および資源変動への影響を解明するための資料を収集する。

3 航海の概要

航海期間	6月1日(日)～7月10日(木)計40日間		
	6月1日(日)	11:00	用船開始
酒田出港	6月1日(日)	12:57	太平洋イカ資源調査開始
宮古入港	6月3日(火)	14:10	
宮古出港	6月4日(水)	8:55	
八戸入港	6月19日(木)	15:57	太平洋イカ資源調査終了
八戸出港	6月21日(土)	13:55	日本海イカ資源調査開始
新潟入港	7月8日(火)	17:20	
	7月10日(木)	9:25	用船解除
新潟出港	7月10日(木)	9:58	
酒田入港	7月10日(木)	16:00	

(1) 航海期間 令和7年6月1日(日)～7月10日(木)(40日間)

(2) 実習項目

太平洋スルメイカ資源調査・日本海スルメイカ資源調査

(3) 操業区域及び漁具

イカ釣り イカ釣り機 10台

(4) 実習生徒

今航海では乗船せず。

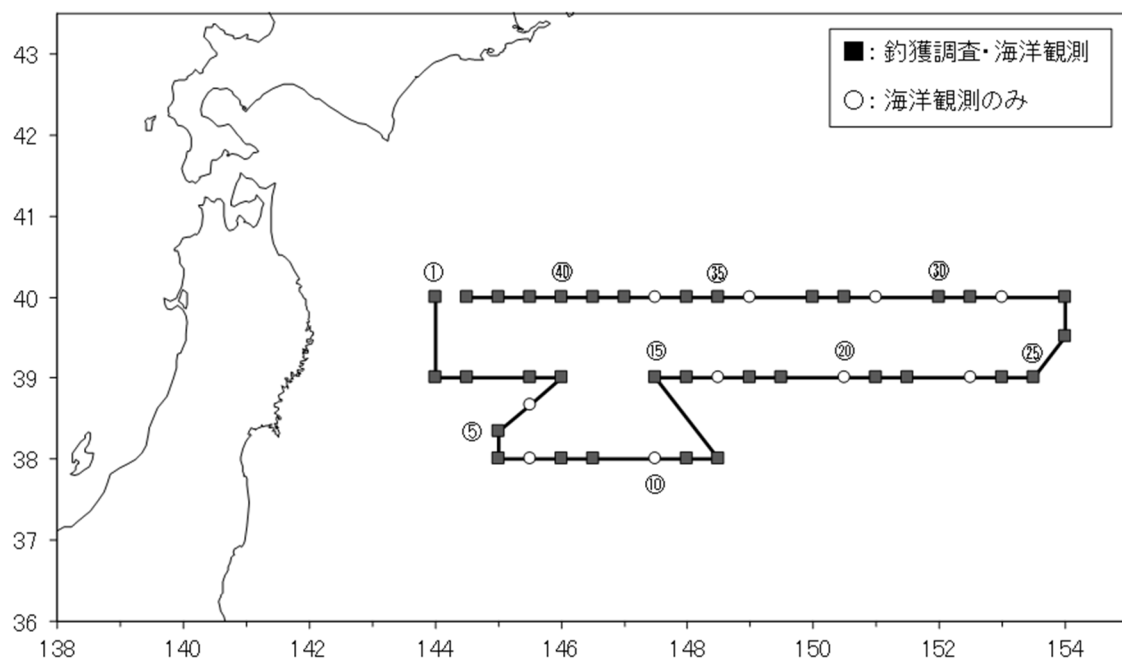
鳥海丸乗組員 13名

4 運航状態

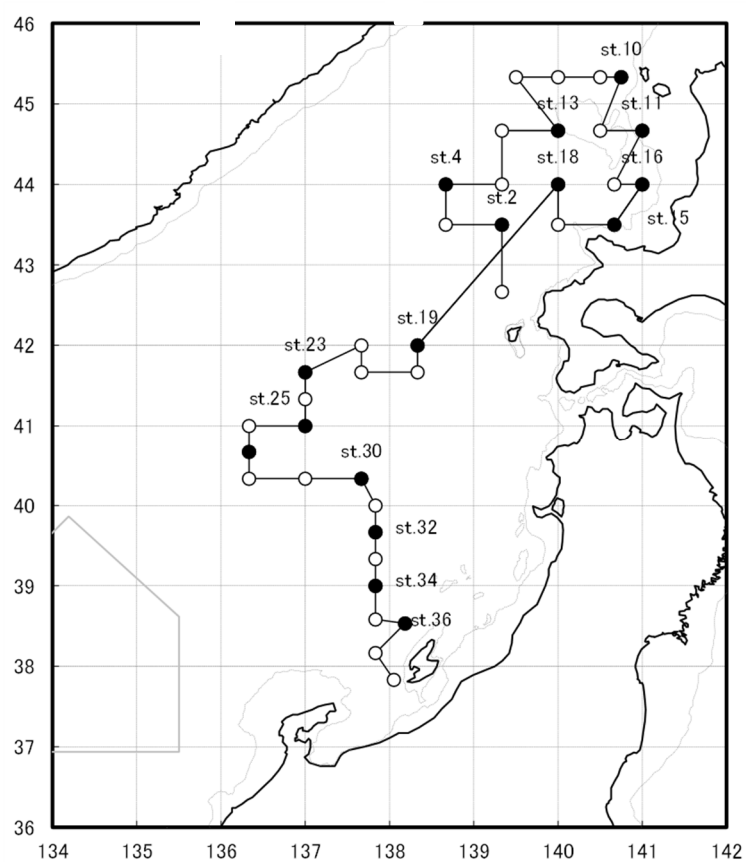
月 日	鳥海丸運航状態		
6月 1日	11:00 八戸港入港	12:57 酒田港出港	
2日		太平洋イカ資源調査航海	
3日	14:10 宮古港入港		
4日	8:55 宮古港出港		
5日			調査点④
6日			調査点⑥
7日			
8日			調査点⑫
9日			調査点⑮
10日			調査点⑰
11日	荒天の為、避航		
12日	荒天の為、避航		
13日			調査点⑳
14日			調査点㉔
15日	荒天の為、避航		
16日			調査点㉖
17日			調査点㉙
18日			調査点㉚
19日	15:57 八戸港入港		
20日	8:09 F.O補油	9:05 F.O補油完了	
21日			
22日	13:55 八戸港出港		
23日		日本海イカ資源調査航海	調査点①
24日			調査点③
25日			調査点⑥
26日			調査点⑧
27日			調査点⑪
28日			調査点⑯
29日			調査点⑮
30日			調査点⑱
7月 1日		日本海イカ資源調査航海	調査点⑲
2日			調査点㉓
3日			調査点㉕
4日			調査点㉗
5日			調査点㉚
6日			調査点㉜
7日			調査点㉞
8日	17:20 新潟港入港		
9日			
10日	8:00 F.O補油	9:25 F.O補油完了、用船終了	
	9:58 新潟港出港	16:00 酒田港入港	

5 航跡図

・イカ資源調査点図（太平洋 令和 7 年 6 月 2 日～18 日）



・イカ資源調査点図（日本海 令和 7 年 6 月 23 日～7 月 8 日）



● イカ釣り・プランクトン採集調査点、□海洋観測調査点

6 操業観測結果

① 正午位置観測

年月日		6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月6日
位置	緯度 ° ' /	38 ° 55 N	41 ° 02 N	39 ° 38 N	39 ° 30 N	39 ° 03 N	38 ° 55 N
	経度 ° ' /	139 ° 50 E	142 ° 17 E	141 ° 59 E	142 ° 36 E	144 ° 26 E	145 ° 46 E
観測結果	コース	酒田港	129	宮古港外錨泊中	114	094	217
	スピードknot		10.4		11.7	9.4	7.3
	天気	c	bc	f	bc	bc	bc
	気圧h p	1004.5	1006.0	1004.0	998.1	1006.5	1016.2
	風向	NW	NW	N	SW	SW	S
	風力	3	3	3	4	4	4
	気温℃	16.0	13.5	17.1	15.2	19.8	17.2
	水温℃	16.0	9.5	12.7	12.6	15.4	15.6
	流向	055	252	025	126	210	282
	流速	0.2	1.0	2.5	0.6	1.3	0.8

年月日		6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日
位置	緯度 ° ' /	38 ° 06 N	38 ° 00 N	38 ° 24 N	38 ° 58 N	38 ° 58 N	38 ° 47 N
	経度 ° ' /	145 ° 12 E	146 ° 59 E	148 ° 06 E	147 ° 59 E	145 ° 52 E	142 ° 27 E
観測結果	コース	漂泊中	092	322	086	270	090
	スピードknot		8.5	8.1	8.2	11.2	11.6
	天気	bc	o	bc	bc	r	bc
	気圧h p	1013.2	1009.5	1016.2	1014.8	1007.0	1012.7
	風向	S	calm	S	S	WSW	W
	風力	4	0	3	3	4	4
	気温℃	20.5	17.5	18.5	19.2	17.0	17.2
	水温℃	17.0	16.3	18.0	18.2	17.6	13.6
	流向	089	342	124	243	326	150
	流速	0.9	0.3	1.0	1.0	1.0	0.5

年月日		6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日
位置	緯度 ° ' /	39 ° 47 N	39 ° 15 N	41 ° 05 N	40 ° 14 N	40 ° 06 N	40 ° 01 N
	経度 ° ' /	147 ° 44 E	150 ° 01 E	149 ° 27 E	149 ° 51 E	146 ° 59 E	145 ° 33 E
観測結果	コース	070	126	300	158	255	266
	スピードknot	10.2	8.5	10.8	6.6	7.5	8.2
	天気	bc	bc	bc	f	o	bc
	気圧h p	1019.7	1019.4	1011.0	1002.5	1006.4	1012.0
	風向	NNW	S	SE	NW	S	WSW
	風力	4	2	5	3	4	3
	気温℃	13.5	18.0	14.8	18.2	18.9	19.5
	水温℃	17.4	16.7	10.2	16.5	17.1	16.2
	流向	172	246	023	305	057	323
	流速	0.3	0.8	0.5	0.2	0.4	0.6

② 正午位置観測

年月日		6月19日	6月20日	6月21日	6月22日	6月23日	6月24日
位置	緯度 ° '	40 ° 29 N	40 ° 32 N	40 ° 32 N	40 ° 32 N	42 ° 40 N	43 ° 30 N
	経度 ° '	142 ° 04 E	141 ° 33 E	141 ° 33 E	141 ° 33 E	139 ° 21 E	138 ° 47 E
観測結果	コース	284	八戸港	八戸港	八戸港	海洋観測中	255
	スピードknot	8.4					5.8
	天気	bc	bc	bc	c	o	bc
	気圧h p	1015.5	1014.5	1008.5	1002.0	1008.0	1011.0
	風向	E	NNE	S	W	SSW	S
	風力	3	3	2	1	4	5
	気温℃	23.8	20.0	31.0	27.5	17.8	17.0
	水温℃	16.9	15.8	16.8	17.4	17.1	16.3
	流向	110	105	325	330	333	302
	流速	0.7	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3

年月日		6月25日	6月26日	6月27日	6月28日	6月29日	6月30日
位置	緯度 ° '	44 ° 24 N	45 ° 20 N	44 ° 39 N	44 ° 01 N	44 ° 07 N	43 ° 49 N
	経度 ° '	139 ° 20 E	139 ° 53 E	140 ° 27 E	140 ° 33 E	140 ° 55 E	139 ° 36 E
観測結果	コース	359	091	漂泊中	漂泊中	漂泊中	314
	スピードknot	9.2	6.0				10.9
	天気	bc	bc	bc	bc	o	f
	気圧h p	1013.2	1005.7	1003.5	1007.0	1008.6	1007.5
	風向	SSW	SSW	NNW	SSW	SSW	S
	風力	5	4	4	3	5	6
	気温℃	18.9	19.8	21.5	18.5	18.5	18.5
	水温℃	16.0	15.2	16.6	18.8	18.2	17.3
	流向	077	157	119	346	283	013
	流速	0.9	0.3	0.2	0.6	0.9	0.3

年月日		7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日	7月6日
位置	緯度 ° '	42 ° 37 N	41 ° 40 N	41 ° 25 N	41 ° 00 N	40 ° 20 N	39 ° 45 N
	経度 ° '	138 ° 50 E	137 ° 40 E	137 ° 00 E	136 ° 30 E	136 ° 50 E	137 ° 50 E
観測結果	コース	211	海洋観測中	186	266	090	180
	スピードknot	008		6.3	9.3	9.4	5.8
	天気	o	bc	bc	r	bc	bc
	気圧h p	1011.3	1011.7	1008.5	1005.0	1004.8	1002.7
	風向	S	S	S	SSW	SW	SSW
	風力	3	4	4	4	3	4
	気温℃	19.8	20.5	23.0	21.5	25.5	25.9
	水温℃	19.1	19.5	21.8	21.8	22.9	23.9
	流向	350	211	239	022	165	019
	流速	0.3	0.5	0.2	0.4	0.5	0.4

③ 正午位置観測

年月日		7月7日	7月8日	7月9日	7月10日		
位置	緯度 ° '	38 ° 51 N	37 ° 45 N	37 ° 56 N	38 ° 15 N	° N	° N
	経度 ° '	137 ° 50 E	138 ° 18 E	139 ° 04 E	139 ° 15 E	° E	° E
観測結果	コース	180	068	新潟港	025		
	スピードknot	9.1	11.8		11.9		
	天気	bc	bc	bc	bc		
	気圧h p	1006.2	1009.8	1012.0	1012.9		
	風向	W	N	NNW	NNW		
	風力	2	2	3	3		
	気温℃	28.3	26.2	32.8	25.5		
	水温℃	24.6	25.7	27.8	26.8		
	流向	271	133	050	079		
	流速	0.6	1.4	0.0	0.3		

4 次 航 海

令和7年度 4次航海

1 航海の名称 救命講習基本訓練

2 講習の目的

船舶という特殊環境で実習を行う者として「船体放棄等の非常時における海上での最小限の生存能力」を身につけるために、登録海技免許講習（救命講習）の実技を通して、船体放棄や非常時において海上での生存能力を高めるための知識と技術を身に付けることを目的とする。

3 学校における事前講習

(1) 日 時 令和7年7月15日（火）

(2) 参加対象 2年水産科海洋技術系 7名

(3) 指導者 乗組員4名（船長・前田（一航）・布川（三航）・高橋甲板員）

(4) 日程・内容

2校時・・・加茂水産高校（運用実習室）

〈内容〉①AED講習

②イマーシヨンスーツの着用と使用方法

3～4校時・・・加茂水産高校（競泳プール）

〈内容〉①救命胴衣の着用方法と遊泳指導

②救命胴衣を着用しないでの遊泳指導

③集団密集隊形の組み方指導

④イマーシヨンスーツを着用しての遊泳指導

⑤高所から海中への安全な飛込指導

⑥要救助者の救助方法（救助者と要救助者に分かれての救助）

⑦救命いかだの取り扱い指導

4 海上における訓練

(1) 日 時 令和7年7月16日（水）

(2) 参加対象 2年水産科海洋技術系 7名

(3) 担当者 鳥海丸乗組員 14名

学 校 職 員 海洋技術系 主任実習教諭 佐藤 浩

海洋技術系 実 習 講 師 佐藤 鉄

水面監視担当者 海洋技術系 教 諭 田代 拓

(4) 実施場所 加茂荒崎灯台沖（真方位 341度・距離 485m地点）

(5) 内 容 ①救命胴衣を着用して、鳥海丸から海中への飛込（約3m）

②集団密集隊形訓練

5 日程

〈鳥海丸〉		〈海光丸〉	
10:00	鳥海丸酒田出港		
10:00	鳥海丸酒田出港		
11:30	昼食		
11:50	鳥海丸加茂沖着（錨泊）		
		13:00	海光丸学校裏着岸
		13:10	海光丸で鳥海丸へ移乗開始 （2年海洋技術系）
13:20	生徒移乗完了後、内容説明 （2年海洋技術系）		
13:45	救命海上訓練開始（実技） 2年海洋技術系の生徒は 鳥海丸より飛び込み訓練		
		14:45	訓練終了後、海光丸に移乗開始
14:50	・実技訓練終了（鳥海丸） ・抜錨		
15:00	加茂沖発（鳥海丸）	15:00	加茂港帰港
16:30	酒田港着岸（鳥海丸）		

6 船内生活および航海の状況について

今年度も好天に恵まれ、無事に予定していた訓練を実施できた。

学校での事前講習では、AED講習、イマーシヨンスーツの着用、救命胴衣の着用方法と遊泳指導、高所から海中への安全な飛込指導など、STCW条約基本訓練（消火・生存）を受講した乗組員より指導いただき、訓練を実施した。

今回の実技講習を通して、船体放棄や非常時において海上で自身の生存能力を高めるために必要となる知識と技術を身に付けることができた。

7 実習写真

写真①	写真②
	

5 次 航 海

令和7年度 5次航海

1 航海の名称 小・中学生体験航海【サタデー探検隊Ⅲ海から庄内を見てみよう！】

2 航海の目的

- ・ふるさと庄内の自然や私たちの暮らしの中の課題を解決したり、豊かにしたりするために仕事をしている人々の知恵を学び、生き方に触れる。
- ・講座は、庄内の広域、北部、南部をフィールドに「山、川、海」をテーマとした3回シリーズとして構成し、豊かな自然体験を通してふるさとに愛着を持つ子どもを育成する。
- ・保護者に対して、庄内に関するポジティブな情報・イメージを発信する。
- ・講座内容を持続可能な開発目標（SDGs）と結び付けて意識づけを図る。

3 一般概要

（1）主 催（運 営）

庄内総合支庁（生涯学習施設「里仁館」）

（2）受 講 料

1,000円

（3）指 導 員

山形県水産研究所 副所長 高澤 俊秀 氏

里仁館スタッフ

山形県立加茂水産高等学校職員、鳥海丸乗組員

（4）期日・乗船者

日 程：7月19日（土）

乗船者：指導教官 佐藤 鉄

スタッフ 5名

小学4年生～中学2年生の児童生徒と保護者 計38名

（内小学生19名 保護者19名）

4 日程表

航海期間	7月19日（木）
酒田集合	11：30 海洋センター集合 開会式・講義
乗 船	13：15 乗船式 日程説明
出 港	13：25 酒田港出港
	14：05 船内見学 庄内の沿岸線を船の上から観察
入 港	16：30 酒田港入港

1 航海の名称 中学生体験航海【加茂水産高等学校体験入学】

2 航海の目的

本校に入学希望または進路選択の一つに考えている県内外の中学生が、学校・学科のガイダンスや実習船「鳥海丸」の乗船体験、その他の実習体験を通して、「海・船・水産物」を中心とした本校の教育内容への理解と興味・関心を深める。また、海洋体験・水産体験により山形県の水産業について理解を深める。

3 一般概要

(1) 主催者

山形県立加茂水産高等学校

(2) 指導員

山形県立加茂水産高等学校職員、鳥海丸乗組員

(3) 期日・乗船者

日程：7月31日（木）、8月1日（金）

乗船者：指導教官 佐藤 勝則、佐藤 鉄

中学生 1日目 8人

2日目 7人

4 船内生活および航海の状況について

今年度も天候に恵まれ、絶好の体験航海日和の中、体験航海を行った。内容は「①鳥海丸の操船体験」「②船内見学と無線通信の学習」「③実用的なロープワークの習得」の3部構成で行い、いずれの体験においても、生徒たちは乗組員の指導に真剣に耳を傾け、熱心に取り組む姿が非常に印象的であった。特に操船体験では、実際に操舵スタンドに立って舵を握り、自らの手で鳥海丸を動かす体験に大きな興奮と感動を覚えた様子であった。船酔いする者もなく、全員が充実感に満ちた笑顔で下船した。今年度も極めて有意義な乗船体験を実施できた。

5 日程表

8:30	酒田港集合
8:45	乗船式
8:55	学校紹介
9:30	救命設備説明
9:40	酒田港出港（出港見学）
10:00	運航体験、船内ツアー
	船内ツアー
	・操舵室 ・無線室 ・機関室 ・生徒居室 ・生徒食堂
	運航体験
	・操舵室にて操舵体験
12:00	酒田港入港（入港見学）
12:15	下船式・アンケート記入
12:30	解散

1 航海の名称 小学生体験航海【やまがた海洋塾】

2 体験航海の目的

- (1) 実習船「鳥海丸」に乗船し、船内見学を通し、海・船・海洋生物などについて興味関心を深める。
- (2) 実習船「鳥海丸」を海洋に関心のある小学生に開放し、水産教育への理解を深める。

3 一般概要

(1) 主催者

海と日本プロジェクト in 山形実行委員会
後援

山形県海洋教育研究会
山形県立加茂水産高等学校

(2) 参加対象

山形県内の小学生5・6年生(20名)

(3) 指導員

山形県立加茂水産高等学校 常勤講師 土井拓也
山形県立加茂水産高等学校 生徒 2名
実習船 「鳥海丸」 乗組員 14名

(4) 日程・内容

航海期間	8月2日(土)
乗船準備	11:35 飛島耐震岸壁集合
乗 船	11:50 乗船式 日程説明
出 港	12:00 飛島出港
	12:30 船内見学 昼食
入 港	14:30 酒田港入港

6 次 航 海

令和7年度 6次航海

1 航海の名称 海洋資源活用航海（2年水産科食品系）

2 目的

- (1) 水産物の観察や加工実習、また道内での加工場や市場の見学を通して、水産業への興味・関心を高めるとともに正しい勤労感を育てる。
- (2) 海洋観測・生物調査をとおして、海洋に親しみ、船舶や海洋環境に対する興味関心を持たせるとともに、安全を重んじ、技術の改善を図る態度を養う。
- (3) 船内における集団生活をとおして、集団の規律を学ぶとともに、本校の伝統である、熱・意気・団結の精神を体得させる。
- (4) 生徒相互間の親睦を図り、思いやりの心を持ってお互いの仲間意識を育てる。

3 航海の概要

(1) 実習期間 令和7年8月19日（火）～令和7年8月26日（火）（8日間）

項 目	航 海 計 画
実習期間	令和7年8月19日（火）～8月26日（火）
集合時間	8月19日（火） 09：00（酒田港 鳥海丸）
酒田出港	8月19日（火） 11：00
酒田入港	8月26日（火） 12：00
解 散	8月26日（火） 13：00
乗船生徒数	2年水産科食品系 5名
鳥海丸乗組員	13名
指導教官	水野 貴雄・神林 充

(2) 実習項目

イカ釣り実習、イカ加工実習

(3) 操業漁具

イカ釣り イカ釣り機 10台

4 日程・日課・実習および学習の実施状況

8月19日(火)	活動内容
09時00分	生徒集合
10時00分	船内での心構え
11時00分	酒田出港
12時00分	昼食
14時00分	船内学習
18時30分	夕食
22時00分	消灯

20日(水)	活動内容
06時30分	起床・点呼・清掃
07時00分	朝食
10時00分	船内学習
12時00分	昼食
16時00分	夕食
17時00分	小樽入港
22時00分	消灯

21日(木)	活動内容
06時30分	起床・点呼・清掃
07時00分	朝食
09時00分	かま栄工場直売店見学
10時00分	小樽水族館見学(以降市内班別研修)
16時30分	夕食
22時00分	消灯

22日(金)	活動内容
04時15分	起床・点呼
05時30分	札幌市場見学、場外市場見学
10時00分	小樽市内見学
16時00分	夕食
22時00分	消灯

23日（土）	活動内容
06時30分	起床・点呼・清掃
07時00分	朝食
11時00分	小樽港出港
12時00分	昼食
16時00分	夕食
20時00分	イカ釣り開始
23時30分	生徒活動終了
24時00分	夜食
26時00分	消灯

24日（日）	活動内容
10時00分	起床・点呼・清掃
12時00分	昼食
13時00分	船上加工
16時00分	夕食
20時00分	イカ釣り
23時30分	イカ釣り終了
24時00分	夜食
26時00分	消灯

25日（月）	活動内容
10時00分	起床・点呼・清掃
12時00分	昼食
14時00分	船内学習
16時00分	夕食
22時00分	消灯

26日（火）	活動内容
06時30分	起床・点呼
07時00分	朝食
12時00分	酒田入港
13時00分	解散

5 船内生活と生徒指導・航海の状況について

(1) 知識・技術の習得

水産科食品系 5 名の生徒で 8 日間の乗船実習を計画した。2 日間の実習では、イカの漁獲方法の見学とイカ加工実習やイカ加工実習を行った。乗船生徒の船酔いもあったが、生きた原料の加工等、校内実習でできない経験をすることができ、関連する知識や技術の習得に繋がった。船内学習では、船員法の学習なども行った。また、小樽ではかまぼこ工場、札幌では中央卸売市場の見学を行った。多くの加工品に触れ新製品のアイデアが浮かび、来年度の課題研究にもつながる体験ができた。

(2) 船内生活

時間厳守・船内規律厳守をオリエンテーション時、重点的に指導した。一時船酔いに苦労する生徒もいたが互いに助け合い、仲間意識を育むことができた。また指導教官と協力して食事当番、清掃、洗濯などをしっかりすることができた。部屋も常にきれいに保ち、1 週間船内生活をすることができた。

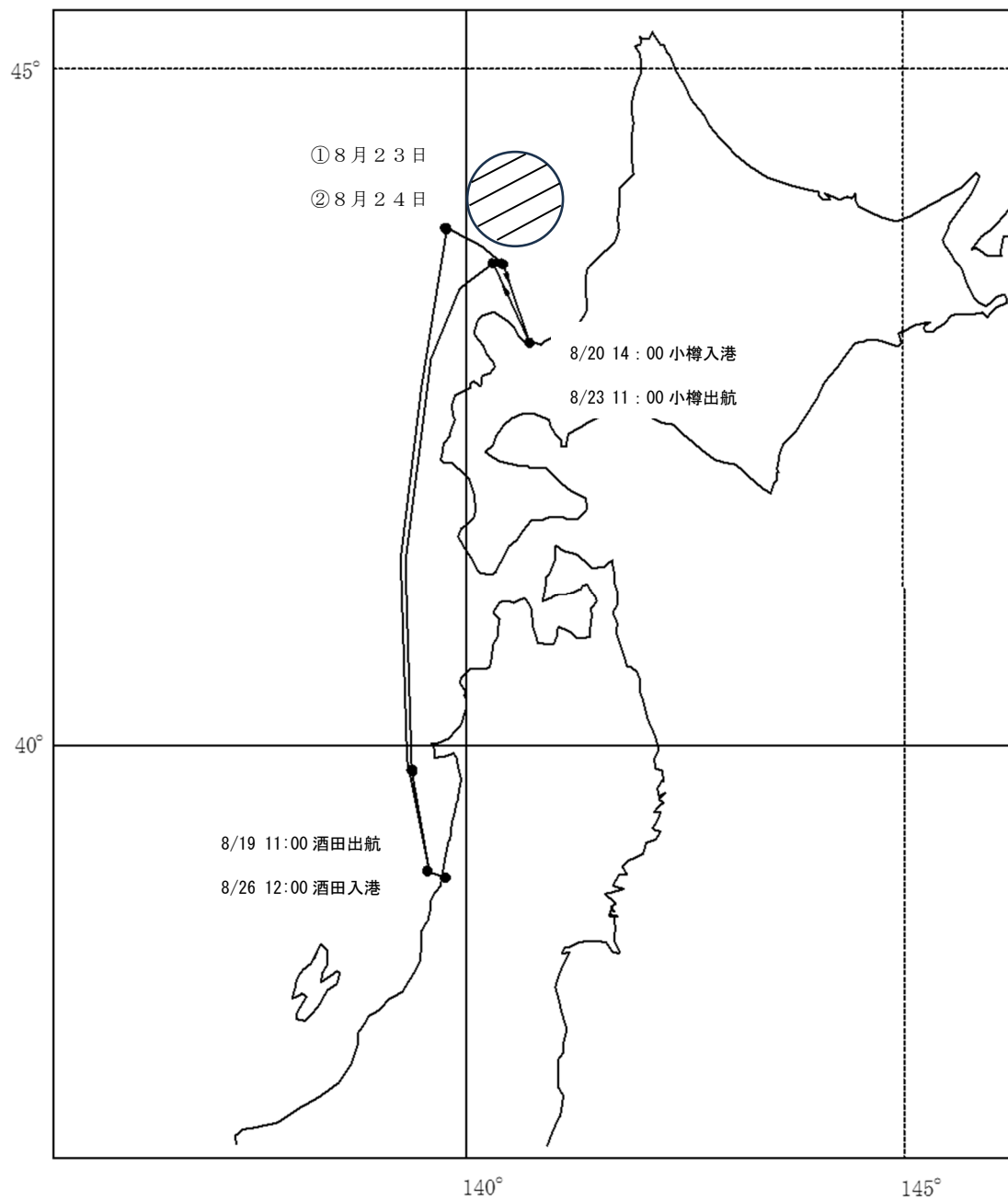
(3) 保健衛生

整理、整頓を心掛け、身の回りや船内居住区共にきれいであった。常に衛生には気を付けながら生活した。

(4) 航海の感想

生徒、職員は乗船中の船酔いに苦労もあったが、概ね予定していた内容を行うことができた。船内での生活は、食事や掃除、洗濯も協力して生活できた。漁獲物は少なかったが、イカを漁獲し、加工処理ができ、いつもは体験できないことができた。また、寄港地の小樽では、市場や加工会社で見学を行い、本人の今後につながる経験ができた。また、観光も行い、小樽を知ることができた。今回の経験を踏まえ、今後の学校生活や進路活動に向けて本実習は意義の深いものだった。

6 航跡図



7 実習中の写真

札幌中央卸売市場見学①



札幌中央卸売市場見学②



かま栄見学実習



イカ加工実習



7 次 航 海

令和7年度 7次航海

1 航海の名称 海洋資源調査航海（2年 水産科 資源増殖系）

2 目 的

実習（1）～（3）を通して、日々の学習をより深いものとする。また、生徒相互間の親睦を図り、思いやりの心を持ってお互いの仲間意識を育てる。更に、飛島と栗島それぞれの文化や自然の違いを学び、相対的に本県沿岸に対しても理解を深める。

- （1）スキندайビングを通して技術の向上を図ると共に、2島（飛島・栗島）に対する加茂沿岸域の生物相の違いと海洋環境について学習する。
- （2）飛島の施設を見学し、教科「資源増殖」の学習効果を高める。
- （3）船釣りの採捕結果から、資源調査方法について理解を深める。

3 航海の概要

（1）実 習 期 間 令和7年8月29日（金）～令和7年9月5日（金）（8日間）

（2）実 習 項 目

藻場調査（スキندайビング）
増養殖関連施設見学
海洋観測実習
プランクトン採集および観察
飛島島民との交流会

（3）実 習 生 徒 2年 水産科 資源増殖系 8名

鳥海丸乗組員 14名

指 導 教 官 佐藤 専寿、本間 伸栄

4 日程・日課・実習および学習の実施状況

8月29日(金)	09:00 生徒集合
	09:10 オリエンテーション・応急保安部署
	10:30 出港式
	11:00 酒田港出港
	11:30 昼食
	13:20 飛島入港
	13:50 島内散策
	16:00 帰船
	16:30 夕食
	18:00 講話(講師:合同会社和楽代表 渋谷 聡 氏)
	21:00 点呼・学習
	22:00 消灯
8月30日(土)	06:30 起床・点呼・朝食
	08:00 船内清掃
	09:20 飛島島民との交流(グランドの整備手伝いなど)
	11:30 帰船・昼食
	13:30 藻場調査(スキndaイビング)
	15:30 帰船
	16:30 夕食
	21:00 点呼・学習
	22:00 消灯
8月31日(日)	06:30 起床・点呼・朝食
	08:00 船内清掃
	08:30 陸上養殖予定場にて研修
	09:00 海底清掃(スキndaイビング)
	11:20 帰船
	11:30 昼食
	12:40 飛島出港
	16:00 酒田港入港
	16:30 夕食
	20:00 船内学習(飛島の活動の振り返りとまとめ)
	21:00 点呼
	22:00 消灯
9月 1日(月)	06:30 起床・点呼・朝食
	08:00 船内清掃

9月 1日(月)	09:00 鳥海丸給水
	10:00 酒田港出港
	10:10 ワッチ(2名×2グループ、1グループ30分、)
	11:30 昼食
	12:00 ワッチ(2名×2グループ、1グループ30分、)
	14:00 粟島港沖着(他船が岸壁に停泊しており着岸出来ず)
	15:40 新潟県佐渡市小木港へ
	16:30 夕食
	21:00 点呼
	22:00 消灯
9月 2日(火)	06:00 小木港入港
	06:30 起床・点呼・朝食
	08:00 船内清掃
	08:45 小木散策(宿根木、琴浦等)
	11:20 帰船
	11:30 昼食
	13:00 小木自主研修
	16:00 帰船
	16:30 夕食
	21:00 点呼・学習
	22:00 消灯
9月 3日(水)	06:30 起床・点呼・朝食
	08:00 船内清掃
	08:30 小木ジオパーク研修
	11:00 帰船
	11:30 昼食
	13:00 船内学習(プランクトン観察、水質計測)
	16:30 夕食
	18:00 小木港出港
	20:30 点呼
	21:00 消灯
9月 4日(木)	05:15 起床・点呼
	06:40 朝食
	11:30 昼食
	13:00 加茂港入港後、機材等の運搬・後片付け
	14:15 加茂港出港
	16:00 酒田港入港

	16:30 夕食
	21:00 点呼
	22:00 消灯
9月 5日(金)	06:30 起床・点呼・朝食
	08:00 身辺整理・部屋清掃
	09:00 船内大掃除
	10:00 下船式
	11:00 解散

5 船内生活と生徒指導・航海の状況について

(1) 理解・技術の習得

天候に恵まれた航海となったが、粟島港岸壁に他船が着岸していたため入港できず、急遽、新潟県佐渡市小木へ変更となった。

飛島における実習では、スキンドайビングによる藻場調査や海底清掃、島内散策、飛島島民との交流、渋谷聡氏による生徒への講話など様々な活動を行うことができた。当初の予定をすべて行うことができ、生徒たちは島の環境や文化など本土では学べないことを多く学習することができた。

また、急遽変更となり入港した新潟県佐渡市小木では、小木の文化や歴史を学習することができた。小木港付近の岩場にて、藻場の学習会も行い、本土と生えている海藻の違いなどについても学ぶことができた。

最後に全体を通して、船内という限られた空間の中で生徒たちはお互いに助け合って、団結力を深めることができた。「資源増殖」「総合実習」「水族館学概論」などの授業に繋がれた航海であることはもちろんであるが、生徒が一人一人自ら考えて行動できるようになったのは非常に大きな成果である。

(2) 船内生活

男子4名、女子4名の普段から仲が良いクラスである。指示、決まりごとは普段からよく守り、乗船中も同様であった。また誰かが失敗しても責めることはなく、お互いに協力し合える生徒たちである。他との協力が必要な場面も乗船中は多々見られたが、互いに尊重し合っていた。

(3) 保健衛生

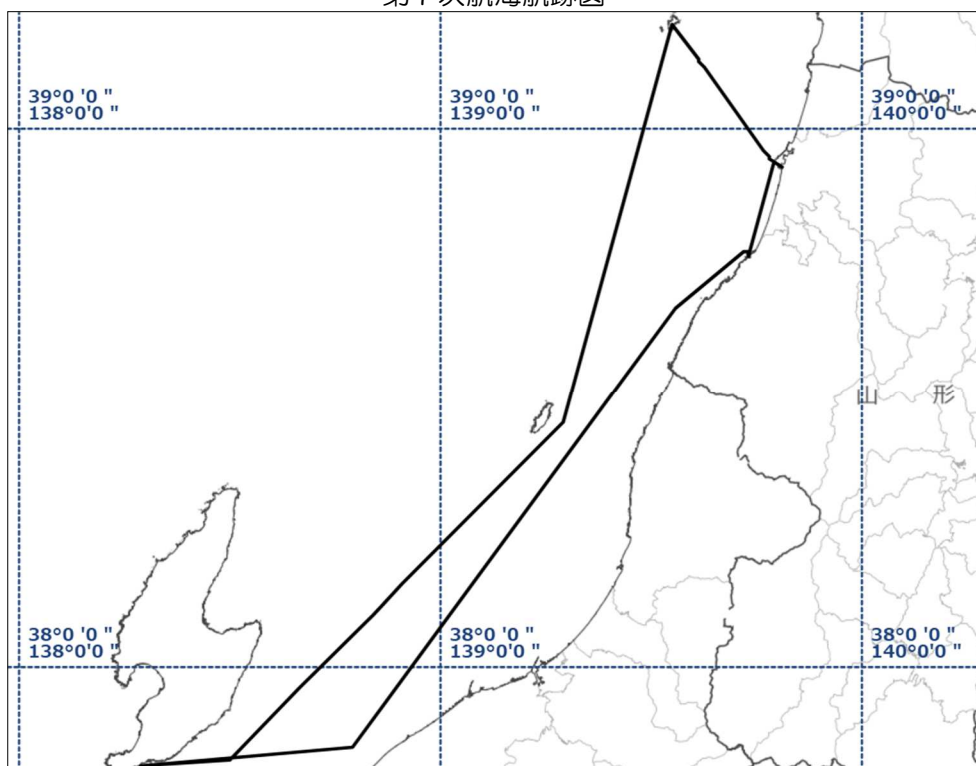
航海中は、大きな揺れは無かったものの、船酔いに襲われる生徒が1名いた。しかしながら、船内の清掃等をしっかり行い、船内衛生環境を保つことができた。各種感染症予防のため、日々の健康観察、こまめな手洗い、手指消毒など、呼び掛けを行った。

(4) 航海の感想

鳥海丸の専任教官の配置が廃止され初めての航海となったが、様々な場面で鳥海丸船員よりサポートしていただき、怪我もなく無事に航海を終えることができた。栗島港に入港できないというトラブルには見舞われたが、急な変更にも柔軟に対応することができ、とても充実した乗船実習となった。

6 航 跡 図

第7次航海航跡図



7 航海実習写真

写真①飛島の文化を学ぶ



写真② 渋谷氏による講話



写真③ 飛島島民との交流



写真④ 藻場調査と増殖装置撤去



写真⑤ 飛島に広がるアマモ場



写真⑥ 小木港散策



写真⑦ 小木の歴史を学ぶ



写真⑧ プランクトン採集



8 次 航 海

令和7年度 8次航海

1 航海の名称 総合実習航海（2年水産科海洋技術系）

2 目的

- （1）イカ釣り、カニ籠漁業など多様な漁業を通して、操業要領と漁業の理解を深めるとともに正しい勤労観を育てる。
- （2）海洋資源調査を体験し、漁獲物の観察、海洋観測、船舶の概要等について学び、安全を重んじ、技術の向上を図る態度を養う。
- （3）海洋観測・生物観測をとおして海洋に親しみ、船舶や海洋環境に対する興味関心をもたせる。
- （4）船内における集団生活をとおして、集団の規律を学ぶとともに、本校の伝統とする、熱・意気・団結の精神を体得させる。
- （5）生徒相互間の親睦を図り、思いやりの心を持ってお互いの仲間意識を育てる。
- （6）60日間の乗船履歴を確保し、進学や海技試験受験のための対応とする。

3 航海の概要

実習期間	9月11日（木）～11月 9日（日） 計60日		
乗 船	9月11日（木）	10:00	酒田港「鳥海丸」
加茂出港	9月16日（火）	10:30	出港式
酒田入港	//	12:45	※発電機冷却水漏れ修理
酒田出港	9月22日（月）	10:00	日本海イカ釣り実習
新潟入港	9月29日（月）	10:00	※FO供給ポンプ及び駆動軸修理
	9月30日（火）	09:30	新潟造船研修 13:30水産庁白鷺丸研修
新潟出港	10月 3日（金）	15:30	
酒田入港	10月12日（日）	09:00	※カニ籠実習準備
酒田出港	10月15日（水）	15:20	沿岸航海実習・カニ籠投籠実習
下関入港	10月19日（日）	11:00	
下関出港	10月21日（火）	16:30	
	10月24日（金）		カニ籠揚籠実習
酒田入港	10月25日（土）	08:30	
酒田出港	10月26日（日）	08:30	操船実習
酒田入港	10月26日（日）	15:30	
酒田出港	10月29日（水）	13:00	日本海イカ釣り実習
酒田入港	10月31日（金）	15:30	
酒田出港	11月 4日（火）	11:00	日本海イカ釣り実習
酒田入港	11月 6日（木）	12:00	
下 船	11月 9日（日）	10:00	下船式 解散

(1) 実 習 期 間 令和7年9月11日(木)～令和7年11月9日(日)(60日間)

(2) 実 習 項 目

イカ釣り実習、カニ籠実習、沿岸航海実習(下関関門海峡航路)

(3) 漁具

イカ釣り イカ釣り機 10台

カニ籠 30籠

(4) 実 習 生 徒 2年水産科海洋技術系 7名

鳥海丸乗組員 14名

指 導 教 官 佐藤 勝則(9月11日～10月12日)

土井 拓也(10月12日～11月9日)

佐藤 良

4 日程・日課・実習および学習の実施状況

月 日	鳥海丸運航状態及び実習・学習内容
9月11日(木)	10:00酒田港集合完了 10:20緊急保安部署説明 13:00身辺整理
12日(金)	09:00総練・船体装備品説明等 13:00訓練記録簿 14:00訓練記録簿
13日(土)	09:00訓練記録簿 10:30操業準備 13:00訓練記録簿 14:00訓練記録簿
14日(日)	09:00訓練記録簿 10:15航海計器起動方法の学習 13:00訓練記録簿 14:00訓練記録簿
15日(月)	09:00訓練記録簿 10:00係船索・操船方法の学習 13:00訓練記録簿 14:00訓練記録簿
16日(火)	07:55酒田出港 09:30加茂入港 10:30出港式 11:10加茂出港 12:45発電機冷却水漏れの為酒田入港
17日(水)	09:00訓練記録簿 13:00訓練記録簿 14:00訓練記録簿 15:00船体構造学習 ※発電機冷却水漏れ修理
18日(木)	09:00清水積み込み作業 13:00訓練記録簿 14:00訓練記録簿 ※発電機冷却水漏れ修理
19日(金)	09:00訓練記録簿 13:00訓練記録簿 14:00訓練記録簿 ※発電機冷却水漏れ修理
20日(土)	09:00訓練記録簿 13:00訓練記録簿 14:00訓練記録簿 ※発電機冷却水漏れ修理
21日(日)	09:00訓練記録簿 13:00訓練記録簿 14:00訓練記録簿 ※発電機冷却水漏れ修理
22日(月)	10:00酒田出港 12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業①
23日(火)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業② 20:00訓練記録簿 21:00訓練記録簿
24日(水)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業③ 20:00訓練記録簿 21:00訓練記録簿
25日(木)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業④
26日(金)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業⑤ 20:00訓練記録簿 21:00訓練記録簿
27日(土)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業⑥ 20:00訓練記録簿 21:00訓練記録簿
28日(日)	12:00～航海当直 ※新潟港向け航走
29日(月)	10:00新潟入港 10:50ミーティング 20:00寄港地研修ミーティング ※主機関FO供給ポンプ及び駆動軸修理
30日(火)	09:30新潟ドック研修 13:00水産庁白鷺丸研修 ※主機関FO供給ポンプ及び駆動軸修理

月	日	鳥海丸運航状態及び実習・学習内容
10月	1日 (水)	09:00各研修レポート作成 ※主機関FO供給ポンプ及び駆動軸修理
	2日 (木)	08:15イカブロックパン抜き実習 09:30訓練記録簿 13:30係船実習 ※主機関FO供給ポンプ及び駆動軸修理
	3日 (金)	09:00主機関FO供給ポンプ及び駆動軸修理・試運転 09:00係船設備学習 14:45～船橋当直開始 15:20新潟出港（漁場向け）
	4日 (土)	12:00～22:00航海当直 ※荒天のためイカ釣り操業中止
	5日 (日)	12:00～22:00航海当直 ※荒天のためイカ釣り操業中止
	6日 (月)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業⑦ 20:00訓練記録簿 21:00訓練記録簿
	7日 (火)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業⑧ 20:00訓練記録簿 21:00訓練記録簿
	8日 (水)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業⑨ 20:00訓練記録簿 21:00訓練記録簿
	9日 (木)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業⑩ 20:00訓練記録簿 21:00訓練記録簿
	10日 (金)	12:00～航海当直 20:00イカ釣り操業⑪ 20:00訓練記録簿 21:00訓練記録簿
	11日 (土)	04:00～酒田港向け航走 12:00～航海当直（22:00まで）
	12日 (日)	08:00酒田入港S/B 09:00酒田入港 13:00訓練記録簿
	13日 (月)	09:00カニ二筆漁準備作業 13:00訓練記録簿
	14日 (火)	08:30F.O.積み込み・食料積み込み 13:00F.W.積み込み 15:15講義（土井）
	15日 (水)	09:00イカ水揚げ・カニ二筆餌付け 12:30出港S/B 15:20酒田出港（24時間当直体制開始） 16:00カニ二筆投籠
	16日 (木)	終日航海当直実習（0-4、4-8、8-0当直）
	17日 (金)	終日航海当直実習（0-4、4-8、8-0当直）
	18日 (土)	終日航海当直実習（0-4、4-8、8-0当直） 13:00関門海峡事前学習 21:50関門港西口通過 23:35関門港東口通過
	19日 (日)	01:00山口宇部沖錨泊開始 08:30当直体制解除・抜錨 09:30関門航路見学開始 11:00関門港下関入港
	20日 (月)	10:30水産大学校見学
	21日 (火)	10:00関門マーチス見学 16:00関門航路見学開始 16:30関門港出港（24時間当直体制開始）
	22日 (水)	終日航海当直実習（0-4、4-8、8-0当直）
	23日 (木)	航海当直実習（0-4、4-8、8-0当直） 16:00当直体制解除
	24日 (金)	10:45海洋観測配信授業 13:00～16:30カニ二筆揚籠
	25日 (土)	08:00酒田入港S/B 08:30酒田入港 09:15講義（土井） 13:00訓練記録簿
	26日 (日)	07:30酒田出港S/B 08:30酒田出港 09:00操船実習 13:00操船実習 14:30酒田入港S/B 15:30酒田入港
	27日 (月)	09:30講義（C/E） 13:00講義（土井）
	28日 (火)	09:30講義（土井） 13:00講義（土井）
	29日 (水)	12:30酒田出港S/B 13:00酒田出港・機関部当直開始 20:00イカ釣り操業⑫
	30日 (木)	12:00～機関部当直 20:00イカ釣り操業⑬
	31日 (金)	12:00～航海当直 14:30酒田入港S/B 15:30酒田入港
11月	1日 (土)	09:30講義（C/E） 13:00講義（土井）
	2日 (日)	09:30錆打ち・機械分解実習 13:00講義（土井）
	3日 (月)	09:30非常操舵訓練実習 13:00講義（土井）
	4日 (火)	10:30酒田出港S/B 11:00酒田出港・航海当直開始 20:00イカ釣り操業⑭
	5日 (水)	12:00～航海当直 13:00揚籠投錨実習 16:00当直解除・焼肉パーティー
	6日 (木)	08:00～守錨当直 10:45抜錨見学・酒田入港S/B 12:00酒田入港 13:00講義（土井）
	7日 (金)	09:30学校×鳥海丸配信授業 13:00合羽洗い作業
	8日 (土)	08:30大掃除 13:00講義（土井）
	9日 (日)	10:00下船式 11:00解散

5 船内生活と生徒指導・航海の状況について

(1) 理解・技術の習得

今回の実習では、漁業実習でイカ釣りとか二筆を行い、船舶運航実習で当直、操船、揚投錨、狭水道航行を行った。60日間という短い期間で非常に多くの内容を行うことができた航海だったが、生徒も頑張っていてくれたと感じている。これまで座学で学んだことの習得に繋がる実習であった。

(2) 船内生活

乗船中は特に大きな問題行動もなく、注意・指導に対してしっかりと改善する姿勢が見られた。生徒同士がお互いの距離感を理解していたので、乗船から下船まで仲良く過ごすことができ、指導教官としても気持ちの良い実習であった。乗組員とのコミュニケーションにおいては、注意されることもあったが、ほとんどの生徒が改善することができ人間的に成長を感じられた場面がいくつかあった。

(3) 保健衛生

日常の清掃活動に関しては、全員が責任をもって取り組むことができていた。清掃のローテーションをしっかりとこなし、船内の公共スペースを清潔に保つことの重要性を理解してもらえたと思う。生徒居室の衛生状態も概ね良好で、清掃が行き届いていない場合はその都度注意し、改善することができた。乗船中、発熱による体調不良者が出たが、常備薬等で対処することができた。船酔いに苦しむ生徒がいたが、ほとんどの生徒が3日ほどで克服していた。船酔いが長引く生徒に関しては、航海日程の都合上、克服する前に入港を迎えたため、実習を通じて完全に克服するまでには至らなかった。

(4) 航海の感想

【佐藤 勝則】

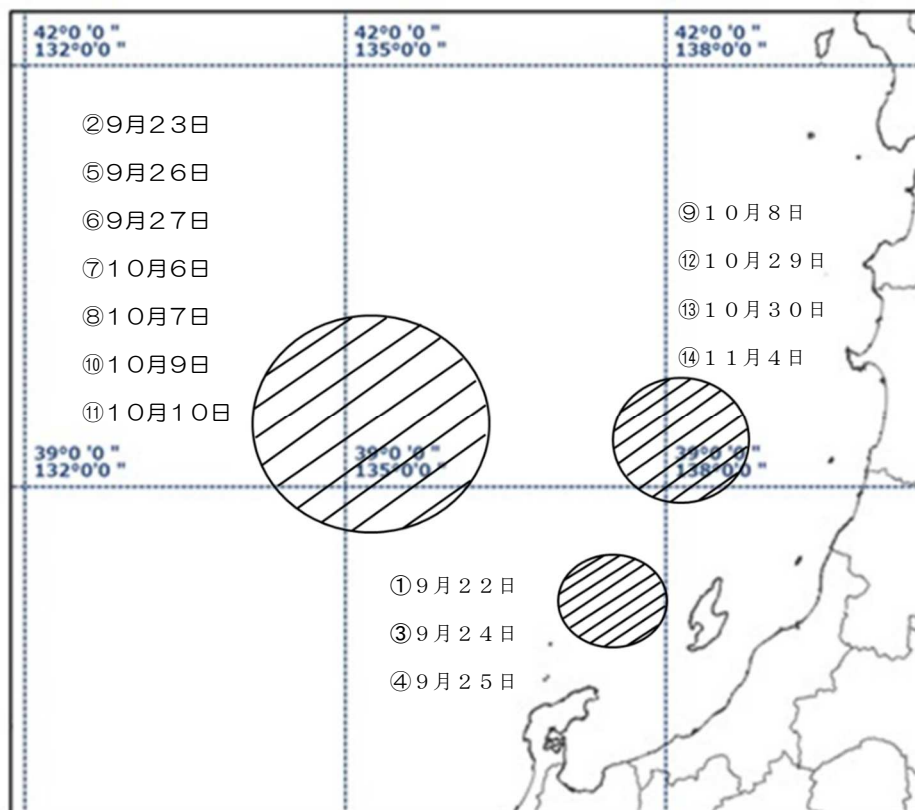
航海の前半を担当させていただき、航海計器の使用法、ウインドラスの操作法、船体構造学習、イカ釣り仕掛けの作成など実習船の構造理解を深めた。乗船当初は船酔いに苦しむ生徒たちであったが、徐々に慣れ、航海当直では士官へ積極的に質問を行ったり、航海術や漁労技術を身に付けようと積極的に乗船実習に取り組んでいた。

【土井 拓也】

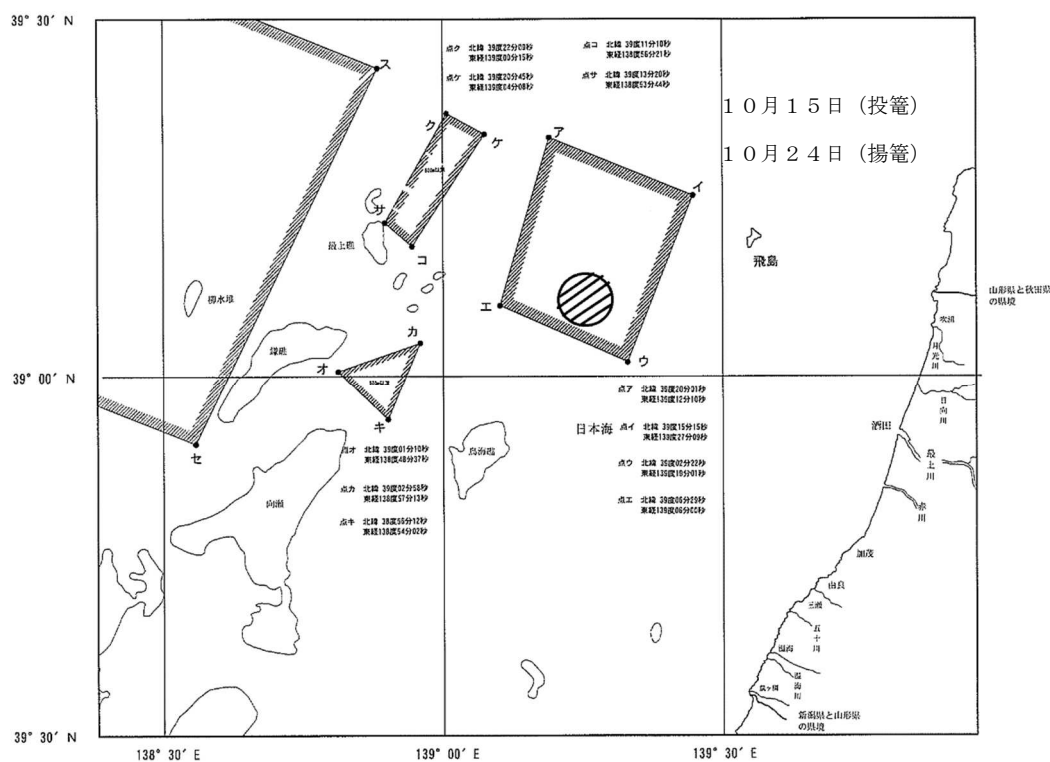
航海の後半から乗船したが、航海開始から1カ月が経ち船内生活や実習の基盤がある程度完成していたのでスムーズに実習に加わることができた。イカ釣りに関しては、スターリンクを活用し3年生と共同で水温と漁獲量の関連性を探るといった授業を行い、イカを獲るだけでなく生態や漁場選定について考える機会を作ることができ、充実した漁業実習となった。また、船舶運航実習に関しては、鳥海丸で初の関門海峡の通峡ということで航路見学を行ったが、航海の難所を目で見て潮流の影響を体で感じてもらうことができた。今回の実習の体験を3年生の沿岸航海に繋げて、多くの知識の理解と技術の習得を行ってほしい。

6 漁 場

・日本海イカ釣り実習



・日本海ベニズワイガニ実習



7 操業観測結果

① 正午位置観測

年月日		9月11日	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日	9月16日
位置	緯度 ° ' "	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 54 N
	経度 ° ' "	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 46 E
観測結果	コース	酒田港	酒田港	酒田港	酒田港	酒田港	013
	スピードknot						11.5
	天気	-	-	-	-	-	bc
	気圧h p	-	-	-	-	-	1015.3
	風向	-	-	-	-	-	W
	風力	-	-	-	-	-	3
	気温℃	-	-	-	-	-	27.0
	水温℃	-	-	-	-	-	28.2
	流向	-	-	-	-	-	253
	流速	-	-	-	-	-	0.1

年月日		9月17日	9月18日	9月19日	9月20日	9月21日	9月22日
位置	緯度 ° ' "	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 53 N
	経度 ° ' "	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 22 E
観測結果	コース	酒田港	酒田港	酒田港	酒田港	酒田港	258
	スピードknot						10.5
	天気	-	-	-	-	-	bc
	気圧h p	-	-	-	-	-	1022.5
	風向	-	-	-	-	-	NE
	風力	-	-	-	-	-	3
	気温℃	-	-	-	-	-	26.8
	水温℃	-	-	-	-	-	25.8
	流向	-	-	-	-	-	080
	流速	-	-	-	-	-	0.7

年月日		9月23日	9月24日	9月25日	9月26日	9月27日	9月28日
位置	緯度 ° ' "	38 ° 59 N	38 ° 29 N	38 ° 16 N	38 ° 49 N	38 ° 42 N	38 ° 43 N
	経度 ° ' "	136 ° 22 E	136 ° 53 E	139 ° 15 E	135 ° 57 E	135 ° 30 E	136 ° 52 E
観測結果	コース	279	130	215	304	漂泊中	100
	スピードknot	8.9	8.7	2.8	5.8		11.0
	天気	bc	bc	c	bc	bc	bc
	気圧h p	1022.5	1020.5	1016.8	1018.5	1021.0	1015.0
	風向	NE	S	SW	NW	NNW	ESE
	風力	4	3	6	2	3	2
	気温℃	29.4	26.5	23.9	26.2	22.5	23.5
	水温℃	24.9	25.1	25.3	25.6	24.7	25.3
	流向	095	201	203	005	350	183
	流速	0.9	0.5	1.4	0.9	0.8	0.3

② 正午位置観測

年月日		9月29日	9月30日	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
位置	緯度 ° '	37 ° 56 N	37 ° 56 N	37 ° 56 N	37 ° 56 N	37 ° 56 N	38 ° 55 N
	経度 ° '	139 ° 04 E	139 ° 04 E	139 ° 04 E	139 ° 04 E	139 ° 04 E	135 ° 28 E
観測結果	コース	新潟港	新潟港	新潟港	新潟港	新潟港	280
	スピードknot						5.8
	天気	bc	bc	r	bc	bc	c
	気圧h p	1005.0	1012.0	1011.5	1017.0	1022.5	1016.5
	風向	NNW	NNE	S	W	NNE	SE
	風力	3	2	2	3	3	4
	気温℃	23.5	24.5	22.0	24.0	23.8	23.2
	水温℃	23.6	23.5	22.6	22.4	22.4	24.4
	流向	189	267	247	184	176	042
	流速	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6

年月日		10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日
位置	緯度 ° '	39 ° 10 N	39 ° 28 N	39 ° 32 N	39 ° 32 N	39 ° 12 N	39 ° 36 N
	経度 ° '	135 ° 35 E	135 ° 33 E	135 ° 33 E	136 ° 33 E	136 ° 37 E	134 ° 57 E
観測結果	コース	漂泊中	015	192	062	245	316
	スピードknot		4.0	7.5	7.8	9.2	6.1
	天気	r	bc	bc	bc	bc	c
	気圧h p	1012.1	1020.5	1020.5	1016.0	1021.3	1023.5
	風向	SE	NE	ENE	NW	NNE	ENE
	風力	2	6	4	3	5	2
	気温℃	22.8	19.9	20.2	21.5	22.5	19.3
	水温℃	24.4	22.6	22.2	23.4	23.6	23.3
	流向	017	023	115	106	112	205
	流速	0.4	0.7	0.6	0.8	1.3	1.5

年月日		10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日
位置	緯度 ° '	39 ° 26 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	37 ° 17 N
	経度 ° '	136 ° 19 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	136 ° 03 E
観測結果	コース	101	酒田港	酒田港	酒田港	酒田港	239
	スピードknot	4.7					8.0
	天気	o	-	-	-	-	r
	気圧h p	1019.3	-	-	-	-	1015.0
	風向	E	-	-	-	-	NE
	風力	5	-	-	-	-	4
	気温℃	17.6	-	-	-	-	20.5
	水温℃	23.2	-	-	-	-	24.3
	流向	068	-	-	-	-	192
	流速	0.8	-	-	-	-	0.9

③ 正午位置観測

年月日		10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日
位置	緯度 ° '	35 ° 49 N	34 ° 29 N	33 ° 57 N	33 ° 57 N	33 ° 57 N	35 ° 23 N
	経度 ° '	133 ° 02 E	130 ° 48 E	130 ° 56 E	130 ° 56 E	130 ° 56 E	132 ° 15 E
観測結果	コース	239	240	下関港	下関港	下関港	051
	スピードknot	6.3	5.8				005
	天気	bc	o	-	-	-	o
	気圧h p	1023.5	1016.3	-	-	-	1026.7
	風向	E	SSW	-	-	-	ENE
	風力	4	5	-	-	-	6
	気温℃	23.8	26.0	-	-	-	18.8
	水温℃	24.7	25.9	-	-	-	23.8
	流向	331	077	-	-	-	044
	流速	0.3	0.8	-	-	-	0.4

年月日		10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日
位置	緯度 ° '	39 ° 04 N	39 ° 06 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N
	経度 ° '	135 ° 33 E	139 ° 12 E	139 ° 50 E	139 ° 41 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E
観測結果	コース	059	042	酒田港	漂泊中	酒田港	酒田港
	スピードknot	10.9	6.8				
	天気	bc	bc	-	c	-	-
	気圧h p	1027.5	1028.6	-	1012.5	-	-
	風向	NE	NNE	-	E	-	-
	風力	5	3	-	4	-	-
	気温℃	17.5	14.9	-	17.5	-	-
	水温℃	22.4	20.8	-	20.7	-	-
	流向	350	167	-	213	-	-
	流速	0.6	0.3	-	0.5	-	-

年月日		10月29日	10月30日	10月31日	11月1日	11月2日	11月3日
位置	緯度 ° '	38 ° 55 N	39 ° 09 N	39 ° 06 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N
	経度 ° '	139 ° 50 E	138 ° 27 E	139 ° 16 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E
観測結果	コース	酒田港	317	114	酒田港	酒田港	酒田港
	スピードknot		8.3	8.7			
	天気	-	bc	c	-	-	-
	気圧h p	-	1028.3	1021.9	-	-	-
	風向	-	ESE	ESE	-	-	-
	風力	-	2	3	-	-	-
	気温℃	-	18.5	17.8	-	-	-
	水温℃	-	19.8	20.0	-	-	-
	流向	-	165	277	-	-	-
	流速	-	0.2	0.2	-	-	-

④ 正午位置観測

年月日		11月4日	11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月9日
位置	緯度 ° '	38 ° 56 N	38 ° 57 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N	38 ° 55 N
	経度 ° '	139 ° 36 E	139 ° 43 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E	139 ° 50 E
観測結果	コース	260	076	酒田港	酒田港	酒田港	酒田港
	スピードknot	8.7	5.8				
	天気	bc	bc	-	-	-	-
	気圧h p	1028.6	1029.0	-	-	-	-
	風向	SE	ESE	-	-	-	-
	風力	2	2	-	-	-	-
	気温℃	14.8	16.3	-	-	-	-
	水温℃	19.9	19.0	-	-	-	-
	流向	353	046	-	-	-	-
	流速	0.8	0.8	-	-	-	-

8 長期航海実習写真

写真① 酒田港出港



写真② 加茂港出港



写真③ 航海計器取扱い



写真④ イカ釣り実習



写真⑤ 白鷺丸見学



写真⑥ 水産大学校見学



写真⑦ 力二籠実習



写真⑧ 操船実習



9 次 航 海

令和 7 年度 9 次航海

1 航海の名称 海洋資源調査航海

2 目 的

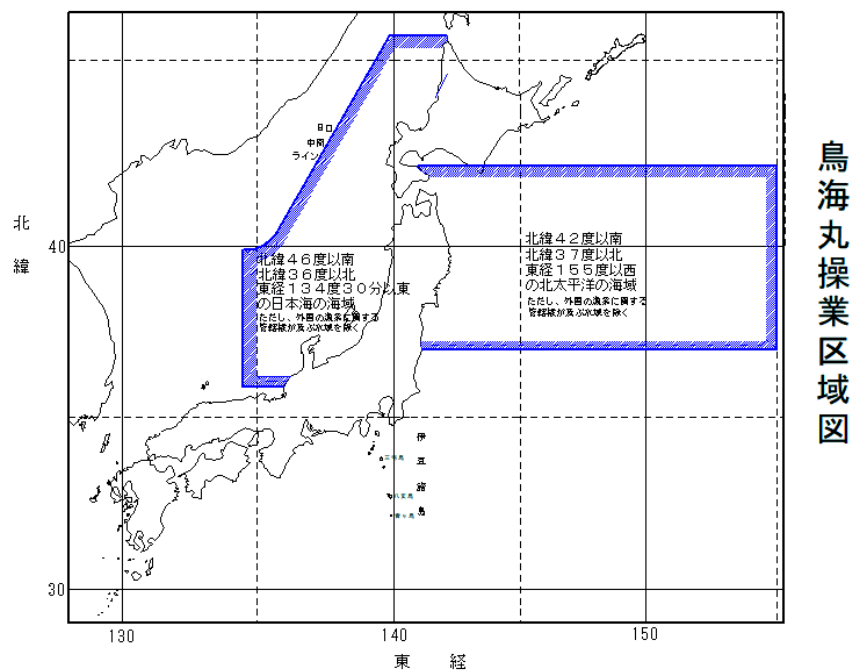
当調査は令和 7 年度の日本海におけるスルメイカの来遊状況を調査し、各関係機関やイカ釣り漁船との情報共有を行い、資源量を推定するための基礎資料を得ることを目的とする。さらに海洋観測データーも収集し、スルメイカの分布と海洋環境の関係を明らかにし、漁場形成、分布回遊生態および資源変動機構を明らかにすることも目的としている。

3 航海の概要

(1) 調 査 期 間 令和 7 年 11 月 14 日 (金) ～令和 7 年 11 月 16 日 (日)
令和 7 年 11 月 21 日 (金) ～令和 7 年 11 月 25 日 (火)

(2) 調 査 項 目
スルメイカの資源及び生態の調査、海洋観測

(3) 操業区域及び漁具
自動いか釣り機 10 台、一本釣り



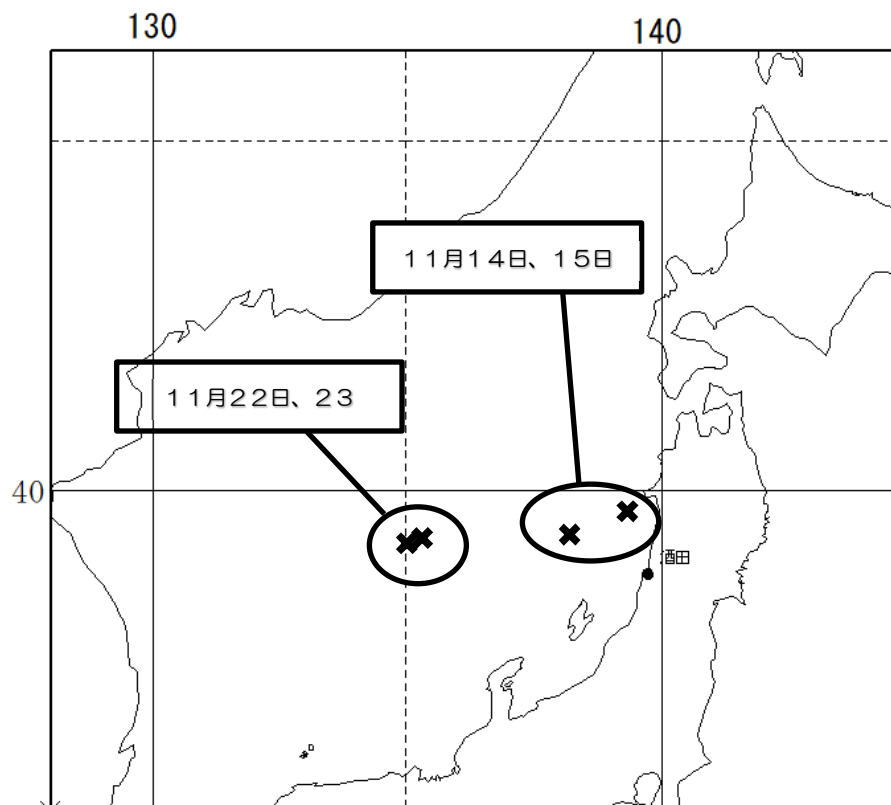
(4) 鳥海丸乗組員
14 名

4 内 容

月 日	鳥海丸運航状態	
11月 14日	10:45 酒田港出港	20:00 スルメイカ調査開始
15日		20:00 スルメイカ調査開始
16日	11:55 酒田港入港	

月 日	鳥海丸運航状態	
11月 21日	10:55 酒田港出港	
22日		20:00 スルメイカ調査開始
23日		20:00 スルメイカ調査開始
24日	酒田港に向け航走	
25日	08:00 酒田港入港	

5 調 査 点



6 調査記録

令和 7 年 スルメイカ釣獲試験記録表 調査船 鳥海丸 9 次航海 (日本海)

※ 外套背長組成 (c m)

月日	11 月 14 日	11 月 15 日	11 月 22 日	11 月 23 日	月 日	月 日	月 日	月 日
位置	39 ° 51.1 N	39 ° 2.8 N	39 ° 6.0 N	39 ° 5.9 N	° N	° N	° N	° N
	139 ° 13.6 E	138 ° 35.7 E	135 ° 19.3 E	135 ° 19.1 E	° E	° E	° E	° E
	計	計	計	計	計	計	計	計
～ 10 c m	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
10 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
11 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
12 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
13 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
14 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
15 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
16 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
17 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
18 c m～	尾	尾	尾	1 尾	尾	尾	尾	尾
19 c m～	尾	尾	2 尾	1 尾	尾	尾	尾	尾
20 c m～	尾	尾	1 尾	3 尾	尾	尾	尾	尾
21 c m～	尾	尾	10 尾	9 尾	尾	尾	尾	尾
22 c m～	尾	尾	27 尾	28 尾	尾	尾	尾	尾
23 c m～	尾	尾	18 尾	27 尾	尾	尾	尾	尾
24 c m～	尾	尾	15 尾	9 尾	尾	尾	尾	尾
25 c m～	尾	尾	16 尾	10 尾	尾	尾	尾	尾
26 c m～	尾	尾	8 尾	3 尾	尾	尾	尾	尾
27 c m～	尾	尾	2 尾	5 尾	尾	尾	尾	尾
28 c m～	尾	尾	1 尾	2 尾	尾	尾	尾	尾
29 c m～	尾	尾	尾	2 尾	尾	尾	尾	尾
30 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
31 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
32 c m～	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
調査尾数	0 尾	0 尾	100 尾	100 尾	尾	尾	尾	尾
釣獲総尾数	0 尾	0 尾	5833 尾	4773 尾	尾	尾	尾	尾
操業水深	100 m	100 m	80 m	80 m	m	m	m	m
c/s	0 c/s	0 c/s	177 c/s	141 c/s	c/s	c/s	c/s	c/s

7 正午位置

① 正午位置観測

年月日		11月14日	11月15日	11月16日	11月21日	11月22日	11月23日
位置	緯度 ° '	39° 02 N	39° 07 N	38° 55 N	38° 56 N	39° 04 N	39° 08 N
	経度 ° '	139° 45 E	138° 46 E	139° 50 E	139° 43 E	136° 27 E	135° 05 E
観測結果	コース	343	漂泊中	酒田港	273	273	漂泊中
	スピードknot	010			5.3	10.1	
	天気	bc	bc	-	o	bc	bc
	気圧h p	1017.0	1026.0	-	1016.0	1026.0	1020.5
	風向	WNW	NW	-	NW	WSW	SW
	風力	4	3	-	5	2	5
	気温℃	13.0	17.8	-	10.5	11.2	15.8
	水温℃	18.3	17.6	-	17.5	17.2	16.2
	流向	025	112	-	325	052	249
	流速	0.3	0.7	-	0.4	0.9	0.8

年月日		11月24日	11月25日				
位置	緯度 ° '	39° 04 N	38° 55 N	° N	° N	° N	° N
	経度 ° '	136° 33 E	139° 50 E	° E	° E	° E	° E
観測結果	コース	092	酒田港				
	スピードknot	10.2					
	天気	c	—		-	-	-
	気圧h p	1017.5	—		-	-	-
	風向	W	—		-	-	-
	風力	3	—		-	-	-
	気温℃	16.1	—		-	-	-
	水温℃	16.9	—		-	-	-
	流向	063	—		-	-	-
	流速	1.4	—		-	-	-

10 次 航 海

令和7年度 10次航海

1 航海の名称 海洋環境調査航海

2 目 的

- (1) 本県沿岸の海水温度や塩分は、冬季間時化により調査できない状況であったため鳥海丸を利用してデータ採取をする。
- (2) 上記データをもとに本県のタラ場周辺の水温分布を明らかにする。

3 航海の概要

(1) 調 査 期 間 (予定)

- | | | | | | | |
|-----|---------|-------|-------|-----|-------|-------|
| 1回目 | 令和7年12月 | 2日(火) | ～ | 12月 | 4日(木) | |
| 2回目 | 令和8年 | 1月 | 7日(水) | ～ | 1月 | 9日(金) |

※荒天の為、1回目、2回目ともに中止。

お わ り に

「令和 7 年度鳥海丸運航状況について」

今年度の航海実習を振り返りますと、新たな挑戦と、安全への誓いを再確認した一年でありました。特筆すべきは、2 年水産科海洋技術系の実習において関門海峡を通過したことです。下関での海上保安庁関門マーチスや水産大学校の見学等、現場の生きた知識に触れる機会を設けたことは、生徒の職業意識を高める大きな一歩となりました。今後はこの経験を土台とし、各クラスとの協議を重ね、さらに質の高い実習航海を構築してまいりたいと考えております。

一方で、天候不順に見舞われる機会も多くありましたが、関係者の尽力により、1 年生から 2 年生までの各航海を概ね予定通りに完遂できました。しかしながら、経年劣化による機関トラブルで航海に支障をきたした点については責任を痛感しております。船体状況の把握とメンテナンスの徹底を改めて肝に銘じ、信頼回復に努めてまいります。

最後になりますが、年間を通じて無事故で実習を終えられましたのは、乗組員、指導教官、そして多方面から支えてくださった職員の皆様のご支援があったからこそです。心より御礼申し上げます。次年度も生徒たちの安全を最優先に、実り多き海上の学び舎を提供できるよう邁進してまいります。

令和 8 年 3 月

山形県立加茂水産高等学校

実習船鳥海丸船長 倉本 照幸